平成３０年度

事　業　報　告　書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

平成３０年度事業報告

平成３０年度は，京都コンサートホールと地域文化会館（５館）につきましては，現在の指定管理者として４年目の最終年度を迎え，ロームシアター京都については，２期目の最終年度を迎えるに当たり，次期指定管理者の獲得を見据え，安定的な事業運営・施設管理を行うとともに，「中期経営計画２０２１」に掲げる目標の達成に向けた取組を推進してまいりました。

京都コンサートホールにおいては，２２回目となる「京都の秋 音楽祭」の実施や海外の一流オーケストラによる公演など世界水準による音楽鑑賞の機会を提供するとともに，平成３０年度は，京都・パリ友情盟約締結６０周年，日仏友好１６０周年を記念する事業を実施し，文化芸術都市・京都におけるクラシック音楽の殿堂としての役割を果たしました。

地域文化会館においても地域との関わりを一層深め，地域の文化力の更なる向上に貢献してまいりました。

ロームシアター京都については，２０１６年のオープンから３年目，劇場のレギュラーシーズンとしては２年目を迎え，「創造」「育成」「交流」「生活」の４つの事業の要素を柱に京都に「劇場文化をつくる」ことを目指し，多彩な事業を展開するとともに，適切な施設管理と来館者サービスの維持向上を図り，安定した運営を推進してまいりました。

さらに，京都市交響楽団は，京都の音楽の中心を担い，多様な日常生活に浸透し市民の誇りとなり，文化芸術都市・京都にふさわしいオーケストラを目指してまいりました。

平成３０年度も財団を取り巻く環境が様々な節目を迎えた中，「中期経営計画２０２１」に掲げる目標の達成や次期指定管理の獲得に向けた取組を着実に行ってまいりました。

『公益目的事業』

■　京都コンサートホール

Ⅰ　自主・共催事業〔全４６事業５０公演４講座〕

文化芸術都市・京都におけるクラシック音楽の拠点として，京都コンサートホール大ホール，アンサンブルホールムラタの両ホールでさまざまな事業に取り組んでまいりました。

ホールの基幹事業である「京都の秋 音楽祭」では，約２ヶ月間にわたり多彩な公演を開催し，国際的な名声を誇る海外オーケストラ，指揮者，ソリストを招へいし，本物の芸術を鑑賞できる機会を提供するなど，クラシック音楽専用ホールとしての役割を果たすと同時に，多くの市民が文化芸術を享受し世界文化が交流する場としての役割も果たしました。

また，京都市交響楽団のフランチャイズホールであるという特徴を最大限に活かし，「京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート」をはじめ，世界のトップ・アーティストとの共演を実現する「京響スーパーコンサート」を開催するなど，その機能強化を図ってまいりました。

１　京都市交響楽団の更なる飛躍を促進

京都コンサートホールをフランチャイズホールとする京都市交響楽団の出演による優れた演奏会を開催しました。「第２２回京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート」では，８年間当楽団の音楽監督を務めた井上道義氏を招いて開催し，昨年同様，市民招待と児童福祉施設へのご招待を実施するなど，市民のみなさまに音楽を享受する機会を提供しました。

また，世界のトップ・アーティストとの共演を実現する「京響スーパーコンサート」では，世界的チェリストのミッシャ・マイスキーを招き，京都市交響楽団の新たな魅力を発信いたしました。さらに，京都市交響楽団のメンバーの活動を支える取組として，「ラ・メリ メロアンサンブル Vol.3」「京都 ラ ビッシュ アンサンブル Vol.15」「京都しんふぉにえった」「アンサンブル弦五楼」の４公演を制作し共催しました。

２　質の高い音楽芸術の鑑賞機会を提供

世界の響きをお届けする海外オーケストラ公演では，スラヴの名門，「スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団」，ドイツの音楽都市ハンブルクから１５年ぶりの登場となった「NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団」（旧ハンブルク北ドイツ放送交響楽団），京都・パリ友情盟約締結６０周年を記念して「パリ管弦楽団」を招へいしました。特に，京都の秋音楽祭のメイン公演である「NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団」の公演では，芸術性の高い演奏で多くの音楽ファンを魅了しました。

アンサンブルホールムラタでは，４年目を迎えた「北山クラシック倶楽部」を展開し，海外のトップ・アーティストによる室内楽コンサート全８公演を開催し，世界最高峰と称される弦楽四重奏団をはじめ，初来日のカウンターテナーと名門バロック・アンサンブルの公演，

コントラバスのカルテット，管楽器アンサンブルなど多彩な室内楽を展開し，質の高い演奏を通して京都の室内楽ファン層の開拓に寄与しました。

３　日本有数のパイプオルガンの活用

京都コンサートホールの大きな特徴のひとつである国内最大級のパイプオルガンを活用した「オムロンパイプオルガン コンサート シリーズ」では，話題の奏者を起用した〈オルガニスト・エトワール〉と海外で活躍するオルガニストを招いて行う〈世界のオルガニスト〉の２公演を開催しました。両公演ともにチケット完売となり，オルガンの魅力を発信いたしました。さらに平成３０年度は，京都・パリ友情盟約締結６０周年記念事業として開催した「パリ木の十字架少年合唱団クリスマスコンサート」や「京都市ジュニアオーケストラコンサート」でもオルガンを活用したプログラムを披露し，新たなオルガンファンの開拓に寄与しました。

４　ジュニアオーケストラの運営／大学生を中心とした実演家の育成支援

平成１７年度に設立した「京都市ジュニアオーケストラ」を京都市交響楽団員の演奏指導のもとに運営し，スーパーヴァイザーの広上淳一指揮による「第１４回京都市ジュニアオーケストラコンサート」で練習の成果を発表しました。本公演では，サン=サーンス作曲の大曲，交響曲第3番「オルガン付き」に挑み，パイプオルガンとの協演で見事なアンサンブルを披露しました。技術の向上だけでなく，高い音楽性を示すことができたコンサートとなりました。

また，京都市立芸術大学をはじめ関西の音楽大学８大学が集結する「関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバル IN 京都コンサートホール」は第８回目を迎え，音楽教育の成果を発表する“音楽の檜舞台”の役割を果たすとともに，秋山和慶指揮のもと，若い力が集結し，互いが刺激を受け，切磋琢磨しながら音楽を創り上げました。

５　子どもや青少年の創造性を育む事業

クラシック音楽を通して感受性や創造性を育む目的で企画した「あけてみよう！“音楽のトビラ”」では，これまで聴く機会の少なかったハープと伝統楽器である笙を取り上げました。国際的に活躍するハープ奏者と笙奏者を招き，お話を交えながら一流の演奏を提供し，未来の聴衆を育成する役割を果たしました。

また，幼稚園児がオルガンに親しむ体験型演奏会「ポジティフオルガン体験講座」など子どもが音楽に触れるきっかけとなる演奏会を提供し，豊かな文化生活を営む未来の音楽愛好家の育成を行いました。

６　地域の活性化と市民参加型演奏会の開催

平日午前１１時開演のワンコインコンサートとして人気シリーズとなった「田隅靖子館長の“おんがくア・ラ・カルト♪”」では，ピアノ，ヴァイオリン，トランペットに加えて演奏者の少ないクラシカル・バンドネオンもお届けし４公演を開催しました。幅広い視点とプログラムでクラシック音楽の多様性を提示し，音楽をより身近に感じていただける機会を提供しました。

また，一般公募により選ばれたアマチュア演奏家が熱演を繰り広げる「音楽でつながる♪リレーコンサート」では，８組の団体が日頃の成果を披露しました。京都だけでなく近隣都市からの参加もあり，多くの音楽ファンが集い活気あふれる一日となりました。北山あおいフェスティバルと同時開催し，音楽のあるまちづくりの中心として，地域の活性化に寄与できました。

７　賑わい事業の開催

京都コンサートホール１階エントランスホールを活用した賑わい事業として「ニュイ・ブランシュKYOTO　２０１８」（白夜祭）を開催しました。ドビュシュー没後１００年にちなんでドビュッシーが影響を受けたインドネシアのガムランを取り上げ，京都市民に新たな楽しみを提供しました。

（参考）京都コンサートホールにおける事業・公演数の変遷

年　度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事 業 数	30 事業	39 事業	38 事業	46 事業
公 演 数	34 公演	41 公演	41 公演	50 公演
講 座 数	4 講座	4 講座	4 講座	4 講座

８　音楽芸術の人材育成のための支援制度

将来の音楽芸術文化を担う人材の育成に資するため，音楽芸術活動を財政面で支援する「京都コンサートホール　ホール利用助成金交付制度」を引き続き実施し，大学の交響楽団演奏会など１７事業を支援しました。また，大学からのインターンシップを２校，中学校での「生き方探究チャレンジ体験」を３校受け入れました。

（参考）平成３０年度京都コンサートホール　ホール利用助成金交付制度による支援実績

事　業　名	事　業　日	主　催　者
京都大学交響楽団 第203回定期演奏会	6月21日（木） 大ホール	京都大学交響楽団
第7回京都両洋高等学校吹奏楽部 定期演奏会 リハーサル	7月17日（火） 大ホール	京都両洋高等学校 吹奏楽部
第7回京都両洋高等学校吹奏楽部 定期演奏会	7月18日（水） 大ホール	京都両洋高等学校 吹奏楽部
京都大学吹奏楽団 定期演奏会　リハーサル	12月10日（月） 大ホール	京都大学吹奏楽団
立命館大学交響楽団 第120回定期演奏会	12月21日（金） 大ホール	立命館大学交響楽団
京都橘大学吹奏楽部 第17回定期演奏会	12月25日（火） 大ホール	京都橘大学吹奏楽部
京都大学吹奏楽団 定期演奏会	12月26日（水） 大ホール	京都大学吹奏楽団
京都大学交響楽団 第204回定期演奏会	1月11日（金） 大ホール	京都大学交響楽団
京都明徳高等学校ﾏｰﾁﾝｸﾞﾊﾞﾝﾄﾞ部 第21回スパークリングコンサート	3月19日（火） 大ホール	京都明徳高等学校 マーチングバンド部
京都市立芸術大学オーボエ･ファゴット 専攻生によるダブルリード大演奏会	3月19日（火） アンサンブルホールムラタ	京都市立芸術大学オーボエ・ ファゴット専攻生
第29回京都文教中学高等学校 吹奏楽部 定期演奏会	3月20日（水） 大ホール	京都文教中学高等学校 吹奏楽部
平成30年度京都市立修学院中学校 吹奏楽部定期演奏会	3月22日（金） 大ホール	京都市立修学院中学校 吹奏楽部
大谷中学校・高等学校吹奏楽部 第55回定期演奏会	3月26日（火） 大ホール	大谷中学校・高等学校 吹奏楽部
第17回ホルンアンサンブル	3月26日（火） アンサンブルホールムラタ	京都市立芸術大学管・打楽・ ホルン専攻生
京都市立上京中学校吹奏楽部 第35回定期演奏会	3月27日（水） 大ホール	京都市立上京中学校 吹奏楽部
京都精華学園高等学校吹奏楽部 第32回定期演奏会	3月28日（木） 大ホール	京都精華学園高等学校 吹奏楽部
京都府立北嵯峨高等学校吹奏楽部 第38回定期演奏会	3月29日（金） 大ホール	京都府立北嵯峨高等学校 吹奏楽部

Ⅱ　受託事業

１　指定管理業務

（１）施設（貸館）の利用実績

京都コンサートホールにつきましては，「京都におけるクラシック音楽の殿堂」としての役割を十分に果たすとともに，若い芸術家たちの憧れの舞台となることを目指し，市民の芸術文化振興の拠点となるよう，営業活動を積極的に行うなど利用の促進に努めました。

実績１　日数利用率

大ホール

区　分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用率（日数）の目標値	70 ％	60 ％	70 ％	70 ％
利用率（日数）の実績値	67 ％	60 ％	66 ％	69 ％
目　標　達　成　度	95.7 ％	100 ％	94.3 ％	98.6 ％

アンサンブルホールムラタ

区　分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用率（日数）の目標値	61 ％	58 ％	57 ％	58 ％
利用率（日数）の実績値	54 ％	54 ％	58 ％	61 ％
目　標　達　成　度	88.5 ％	93.0 ％	101.8 ％	105.2 ％

実績２　入場者数

区　分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
入場者数の目標値	333,000 名	270,000 名	300,000 名	325,000 名
入場者数の実績値	304,263 名	258,587 名	299,450 名	295,466 名
目　標　達　成　度	91.3 ％	95.8 ％	99.8 ％	90.9 ％

実績３　利用料金収入額

区　分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ホール料金収入額	204,483 千円	188,206 千円	203,167 千円	215,182 千円
駐車場利用収入額	20,365 千円	17,984 千円	18,199 千円	17,956 千円
計	224,848 千円	206,190 千円	221,366 千円	233,138 千円

２　お客様へのサービス向上に向けた取組

（１）お客様満足度向上委員会（CS委員会）の推進

平成２１年度から設置しているCS（顧客満足度向上）委員会やホールレセプショニスト会議を毎月開催し，施設の管理運営における問題点の改善や利用者のサービス向上に努めました。

特にCS委員会においては，施設で働く各部門の従事者の代表が参加し，利用ニーズの把握，要望の検証等を行い，「利用者が望むものは何か」を常に考え，利用者の期待を裏切らない接客・応対について協議してまいりました。

（２）アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様ご意見箱の設置

平成２３年１１月から実施している「理事長への手紙」を引き続き実施し，手紙をいただいた皆様からの貴重なご意見を参考にサービス向上に努めました。

また，施設の利用に関する要望・提案をお伺いするため，「お客様ご意見箱」の設置や施設を利用する全ての利用者（主催者，鑑賞者，来館者等）を対象に，アンケート調査を実施しました。利用者・来館者からは下表のとおり，すべての項目において良好な評価をいただきました。常に利用者・来館者の目線に立ち，さらなるサービス向上に努めてまいります。

さらに，京都コンサートホール・ロームシアター京都の施設をご利用いただいた皆様には，後日，アンケートを兼ねたお礼状（サンキューレター）を送付し，リピーターの確保及び利用者ニーズの把握に努めました。

（参考）アンケート調査の結果【満足と回答いただいた割合】

項　目	京都コンサートホール	東部文化会館	呉竹文化センター	西文化会館ウエスティ	北文化会館	右京ふれあい文化会館	ロームシアター京都
案内表示	73%	100%	97%	100%	99%	97%	96%
応対の仕方	80%	100%	94%	99%	98%	96%	97%
身だしなみ	83%	100%	96%	100%	98%	96%	99%
態　度	80%	99%	95%	100%	98%	96%	99%
言葉づかい	78%	100%	95%	99%	98%	96%	99%
説明の仕方	77%	99%	95%	99%	98%	95%	97%
窓口の印象	77%	99%	96%	99%	100%	94%	99%

（３）京都コンサートホール鑑賞マナーの推奨

鑑賞者に演奏会をより快適な空間・環境で楽しんでいただくため，「鑑賞マナーリーフレット」の配布や館内に鑑賞マナー向上を啓発するポスターを掲出して，京都コンサートホールに来ていただいた全ての鑑賞者が満足していただけるコンサートづくりに努めました。

（４）施設・設備の維持管理

京都コンサートホールは開館から２３年が経過したことで，施設・設備の経年劣化が進んでいるため，財団としてもより一層施設等の修繕に力を入れ，安全面や利用者の快適性を視野に入れた改善に取り組んでまいりました。所有者である京都市による施設・設備の改修及び修繕のほか，財団におきましても京都市との指定管理契約に基づき，計画的な改修並びに修繕に取り組みました。

また，京都コンサートホールの長寿命化を目的とする，京都市による施設・設備の劣化度調査では，施設管理者としての立場からの提言を行いました。

（参考）主な修繕事例（財団実施分）

修　繕　内　容
空気調和機修繕
吸収冷温水機修繕
ﾋﾞﾙﾏﾙﾁ型空調機・ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ修繕
冷却水ポンプ修繕
南面アルミパネル新設
デジタルサイネージ整備修繕

（５）施設管理体制の更なる強化

利用者，観客等の安全確保を最優先に考え，平成３０年度は，平成２９年度に実施した公演中の地震・火災発生を想定した「避難訓練コンサート」での経験を活かして「防火・防災訓練」を行うなど，職員の危機管理意識の更なる向上に努めました。

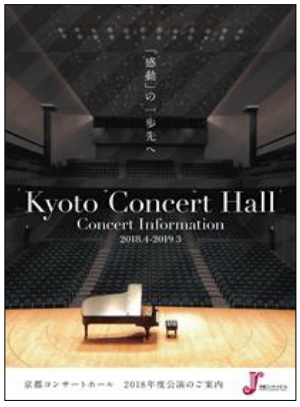
３　広報・宣伝，チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務

（１）自主事業ラインアップ・リーフレットの発行

自主事業ラインアップを事業のシリーズ毎に分類して紹介するレイアウトで構成し，発行しました。

（２）催物カレンダーの発行

京都コンサートホールが自ら企画する主催・共催事業のほか，京都コンサートホールで開催される最新の催物情報を掲載したコンサートガイドを毎月発行し，催物情報の提供やチケット販売促進に努めました。



（３）ホームページ等の充実

インターネットの利点を最大限に活かし，常に新鮮な情報を発信するため，Facebook・Twitter公式アカウント・公式ブログやYouTubeを活用し，効果的な情報提供を行いました。

また，ホームページに公演の魅力を盛り込んだインタビュー動画等を掲載するなど，公演情報の閲覧からチケット購入に繋がる工夫に加え，２０２０年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け，外国人観光客にも分かりやすい英語版ホームページの制作にも継続して取り組み，京都駅からの交通マップ，館内のフロアマップ，自主事業の公演内容等の掲載や，チケットの購入が行えるなどの改善を図りました。

今後は，さらに魅力あるホームページとなるよう，充実を図ってまいります。

（参考）ホームページ月平均アクセス件数

会　館　名	平成29年度	平成30年度	30年度－29年度
京都コンサートホール	31,194 件	28,069 件	－　3,125 件
ロームシアター京都	86,306 件	60,231 件	－　26,075 件
東部文化会館	2,989 件	2,752 件	－　237 件
呉竹文化センター	3,638 件	3,424 件	－　214 件
西文化会館ウエスティ	2,913 件	2,600 件	－　313 件
北文化会館	3,396 件	3,187 件	－　209 件
右京ふれあい文化会館	3,658 件	3,432 件	－　226 件
京都市交響楽団	92,394 件	88,555 件	－　3,839 件

（４）デジタルサイネージ（電子掲示板）の効果的な運用

チケットカウンター前，エントランス，１階エレベーター付近，大ホール・アンサンブルホールムラタ入口に加え，新たに屋外東側の掲示板内にデジタルサイネージ（電子掲示板）を設置し，チケットの販売情報や公演情報など，来館者へタイムリーに情報発信を行いました。

（５）チケット票券管理システムの効果的な運用

京都コンサートホールとロームシアター京都で開催する催しのチケットが相互で購入できるサービスや，インターネットからのチケット購入において各施設の窓口で引き取れるなど利便性の向上に引き続き取り組みました。

平成３０年度は，外国人の方がチケットを購入しやすいよう，英語版の販売システムにおいて発売チケット一覧の掲載を行うなどの改善に取り組みました。

（６）貸館利用者のチケット販売受託業務の実施

チケット管理システム（Gettii）を使用して，貸館利用者のチケット販売を受託（手数料１０％）し，施設利用者や観客の利便性向上に貢献しました。

（参考）入場券販売業務受託状況

会　館　名	受託件数	収入金額
京都コンサートホール	181 件	16,829,900 円
ロームシアター京都	116 件	8,074,670 円
計	297 件	24,904,570 円

（７）セット券の販売

京都コンサートホール開館２０周年（平成２７年度）を契機に新たなセット券の販売を開始しました。平成３０年度は，京都コンサートホールに１５年ぶりに登場するNDRエルプフィルハーモニー管弦楽団，京都・パリ友情盟約締結６０周年を記念して開催したパリ管弦楽団，スロヴァキア初の国立オーケストラ，スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団の３つの海外オーケストラを対象とした「ワールド３」，そして京響スーパーコンサートを組み合わせた「ビック４」といったセット券を販売しました。また，アンサンブルホールムラタでは，京都コンサートホールのオリジナル企画であるドビュッシーをテーマとした３回シリーズセット券，また，世界のトップクラスの室内楽を鑑賞する「北山クラシック倶楽部」では，前半４公演，後半４公演の２回に分けて，それぞれ１００枚限定でセット券を販売しました。

共通座席「マイシート」も継続し，大ホール・アンサンブルホールムラタの両ホールで最上級の音楽の鑑賞機会を提供しました。

（８）学生，高齢者，障がいのある方等が音楽を鑑賞しやすい環境の整備

京都コンサートホールの自主事業におけるスチューデント割引，シニア割引，障がいのある方割引を実施し，学生，高齢者，障がいのある方が音楽を鑑賞しやすい環境を整備しました。

（９）ウィークデーパッケージプランの運用

クラシック音楽だけではなく，他のジャンルにも間口を広げ，多様な音楽ファンが集えるホールとして「京都コンサートホールウィークデーパッケージプラン」を引き続き実施し，平日のホール利用率向上に貢献しました。

（参考）ウィークデーパッケージプラン事業数

年　度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事　業　数	10 事業	13 事業	11 事業	16 事業

（参考）平成３０年度 京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン実施実績

事　業　名	事　業　日	主　催　者
ベルリンフィルのメンバーによる室内楽	4月13日（金） アンサンブルホールムラタ	コジマ・コンサートマネジメント
シネマ・コンサート	4月27日（金） アンサンブルホールムラタ	シネマ・ソラ
シネマ・コンサート	7月27日（金） アンサンブルホールムラタ	シネマ・ソラ
ローマ・イタリア管弦楽団	8月22日（水） 大ホール	オトノワ
ボローニャ歌劇場	9月10日（月） 大ホール	響の都
田村麻子オペラティックコンサート	9月28日（金） アンサンブルホールムラタ	クリスタルアーツ
京響プレミアムスピンオフ ラジオタイムス　リハーサル	10月4日（木） 大ホール	ソラシア
京響プレミアムスピンオフ ラジオタイムス	10月5日（金） 大ホール	ソラシア
「時の響」前夜祭　リハーサル	10月18日（木） 大ホール	「時の響」実行委員会
「時の響」前夜祭	10月19日（金） 大ホール	「時の響」実行委員会
長岡京室内アンサンブルwith管	10月30日（火） アンサンブルホールムラタ	NPO法人音楽への道
ララ・ソモス　Lara Somos	11月26日（月） アンサンブルホールムラタ	コジマ・コンサートマネジメント
河村尚子ピアノリサイタル	11月27日（火） アンサンブルホールムラタ	京都ミューズ
角田鋼亮指揮京都市交響楽団 ベートーヴェン「第九」	12月13日（木） 大ホール	京都ミューズ
シネマ・コンサート	12月14日（金） アンサンブルホールムラタ	シネマ・ソラ
第8回東京メトロポリタン・ ブラス・クインテット	3月8日（金） アンサンブルホールムラタ	エラート音楽事務所

（１０）京都コンサートホール記念グッズの販売

「京都の秋 音楽祭」の祝祭感を演出するため,「AUTUMN KYOTO MUSIC FESTIVAL」や「KYOTO CONCERT HALL」の文字をプリントしたエコバック，トラフィカ京カードを作成，販売し，多くの来館者にご購入いただきました。

（１１）外部資金の獲得

主催事業の実施に当たっては，文化庁助成，民間助成に加え，民間企業等からの協賛金の獲得に努めました。さらには，賛助会員制度（４　各種会員制度等の運営（２）賛助会員制度の運営　参照）の活用を行いました。

４　各種会員制度等の運営

（１）各種会員制度の会員数拡大に向けた取組

「京都コンサートホール・ロームシアター京都Club」「京響友の会」の各会員制度の周知を図るとともに，会員共通サービスとして京都市交響楽団の練習風景の公開やバックステージツアーを開催するなど，各会員制度を有機的に活用し，新規会員の獲得に努めました。

また，オンライン会員の「フレンズ会員」（ロームシアター京都との共通会員）については，メールマガジンで先行発売の情報などを配信し，会員数の維持・拡大を図りました。

（参考）会員数の推移

会　員　制　度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
京都コンサートホールClub	2,020 名	3,513 名	3,074 名	2,897 名
京 響 友 の 会　　個 人 会 員	1,362 名	1,396 名	1,406 名	1,433 名
京 響 友 の 会　　法 人 会 員	94 社	99 社	100 社	95 社

（参考）フレンズ会員登録数

年　度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
新 規 登 録 数	7,401 名	9,036 名	7,151 名	7,857 名
累 計 登 録 数	26,854 名	35,890 名	43,041 名	50,898 名

（２）賛助会員制度の運営

京都コンサートホールならびにロームシアター京都の自主事業の一層の充実のため，年間を通じた支援を受けるべく，賛助会員制度（サポーター・パートナー会員）を設けています。会員の方には，会報の送付，チケットの先行予約のほか，会員向けバックステージツアーやゲネプロ公開，また，事業報告会を開催するなど，会員の方に事業内容を深くご理解いただき継続してご支援いただけるように努めました。

なお，寄附金は，京都コンサートホールおよびロームシアター京都の主催事業の事業費に充当いたしました。

（参考）会員数と寄附金

会員区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
スペシャルサポーター　（法人）	3 件	150 万円	1 件	50 万円	1 件	50 万円
サ　ポ　ー　タ　ー　（法人）	36 件	400 万円	27 件	290 万円	31 件	340 万円
スペシャルパートナー　（個人）	33 件	164 万円	34 件	178 万円	32 件	162 万円
パ　ー　ト　ナ　ー　（個人）	59 件	118 万円	50 件	100 万円	45 件	90 万円
合　計	131 件	832 万円	112 件	618 万円	109 件	642 万円

※平成３１年３月末現在

■　地域文化会館
（京都市東部文化会館，京都市呉竹文化センター，京都市西文化会館ウエスティ，京都市北文化会館，京都市右京ふれあい文化会館）

Ⅰ　自主事業〔全５０事業７４公演２０講座〕

地域文化会館が地域の文化芸術の活動拠点として，平成２３年度から取り組んできた「地域文化芸術活動活性化協議会」「文化芸術活性化パートナーシップ事業」「アウトリーチ事業」などを引き続き実施し，文化芸術活動団体，行政，学校関係，地元の各団体等とのネットワークを強化し，文化芸術活動情報の受発信，文化芸術活動団体育成や支援，地域イベントへの積極的な関与など，地域との関わりを深め，地域の文化芸術の振興に取り組みました。

１　地域文化芸術活動活性化協議会の開催

地域文化芸術活動活性化協議会からの提案や意見を受け，コーディネイターが地域の文化芸術活動団体・個人と連携する事業を各地域文化会館で実施しました。

呉竹文化センターでは，「北インド古典舞踊を楽しもう」を，東部文化会館では，市営地下鉄山科駅「音の広場」において，地域の文化芸術活動団体（ポップス，雅楽，コーラスなど）がパフォーマンスを行う「ナイス・ミート@エコム２０１８」（年１２回）を，右京ふれあい文化会館では，地域の方々が気軽に舞台芸術文化などに触れる機会を提供する「あーる de 右京」（年５回）を，西文化会館ウエスティでは，プロ・アマチュアを問わず地域の文化芸術団体・個人にパフォーマンスの場を提供する「ウエスティ・パフォーマンス広場」（年２回）や，音楽活動団体が地域の４中学校吹奏楽部にワークショップを，北文化会館では，若者世代の演奏家を支援する「北区のきずなコンサート」を開催し，多くの方々にご観覧いただき，音楽を通した交流を図りました。

※　地域文化芸術活動活性化協議会とは

文化芸術活動団体，行政の代表者，教育機関の代表者などで構成され，地域ネットワークの構築，文化芸術の情報提供，アウトリーチ事業の開催協力，施設運営への助言や意見交換などを行うとともに，協議会の持つネットワークを活用し，文化芸術活動情報の受発信，事業の協働企画・開催など，地域文化会館が文化芸術の活動拠点として，より一層，地域における文化芸術の活性化を図るとともに，魅力ある地域のまちづくりに貢献するため，平成２３年度から各地域文化会館に設置しています。

２　地域文化会館の重点的な取組

地域文化会館では，以下の７つの視点を重視した文化事業を実施しました。

①　文化芸術活性化パートナーシップ事業
②　市民が幅広い文化芸術に親しむ事業
③　地域連携を実現する参加型事業
④　会館プロデュースによる参加促進型事業

⑤　アウトリーチ事業
⑥　多彩な文化芸術活動を支援する事業
⑦　京都市交響楽団との連携事業

（１）文化芸術活性化パートナーシップ事業の実施

地域の文化芸術の活性化を図るため，各地域文化会館ではパートナー団体と協働で，鑑賞型の「無料公演」に加え，地域の子どもたちを対象とした育成型プログラムである「教育プログラム」を実施しました。

一例として，東部文化会館では，地元中学校の吹奏楽部を対象とした京都橘大学吹奏楽部による合同練習会を開催し，その成果発表として教育プログラム「スプリングコンサート２０１９」において，大学生と中学生が音楽交流する合同演奏曲を演奏しました。

（参考）平成３０年度パートナーシップ団体

会　館　名	パートナーシップ団体
東　部　文　化　会　館	日吉ヶ丘ギターマンドリンアンサンブル 京都橘大学吹奏楽部
呉竹文化センター	京・伏見音楽サークル和音 墨染交響楽団
西文化会館ウエスティ	吹奏楽団京都ムジークフェライン 特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団
北　文　化　会　館	吹奏楽団「雅」 京都セシリア合唱団
右京ふれあい文化会館	NEO吹奏楽団 RAM吹奏楽団

※　文化芸術活性化パートナーシップ事業とは

演劇・音楽・ダンスなど舞台芸術活動団体（パートナーシップ団体）と地域文化会館が協働で，地域の文化芸術活性化を目的とし，魅力ある舞台芸術を披露する「無料公演」，未来を担う子どもたちを対象にワークショップやミニコンサートなどを行う「教育プログラム」を会館内外で年１回以上開催することを条件に，拠点となる文化会館のホールを練習で利用する場合，通常料金の２割で利用することができるほか，文化会館が活動情報の発信や地域活動への協力などを行う事業です。

（２）市民が幅広い文化芸術に親しむ事業

ア　地域の教育機関との連携

右京ふれあい文化会館では，地元中学校の吹奏楽部を対象に，生徒間交流，演奏技術向上などに加え，文化芸術の活性化を目的に「第１７回右京ふれあい合同演奏会」を，東部文化会館では地元大学と協定（※）を締結し，文化・芸術の振興に寄与する人材を育成することを目的に「文化芸術による地域貢献プロジェクト」を，呉竹文化センターでは，京都市内６大学の落語研究会・サークルの学生による「第２５回学生お笑い呉竹寄席」を開催しました。

また，京都市立芸術大学と各地域文化会館が連携して才能ある若い世代を支援するため，西文化会館ウエスティでは「ウエスティ音暦（おとごよみ）」を，北文化会館では「文化会館コンサートシリーズ」を，それぞれ年２回実施しました。

※　地元大学と協定（京都橘大学との連携）

（ア）概要

地域文化会館では，地域の特性を活かした文化芸術活動の拠点となるために，地域の文化芸術団体等との連携などに積極的に取り組んでいます。それらの活動をさらに発展させるため，平成２７年１１月５日に京都橘大学において，東部文化会館と京都橘大学との連携に関する協定の締結を行い，平成３０年度も継続して，地域の文化・芸術の振興に寄与する人材を育成することを目的とする「文化芸術による地域貢献プロジェクト」を実施しました。

（イ）具体的な連携内容

a　会館の自主事業，アウトリーチ事業等に現代ビジネス学部都市環境デザイン学科等の学生が学修体験として参加する。

b　アートマネジメント学修に資するため，舞台運営や施設の管理，事業への取組等について学修する機会を創る。

c　学生が学修体験で得た知識や経験等を活かし，文化芸術の振興や，文化芸術を活用した地域の発展やまちの賑わい創出等に貢献する企画立案・実施を会館とともに行う。

d　会館が今後の自主事業等の運営に活かせるように，大学の協力のもと，事業の在り方や実施方法等について研究する機会を得ることなど，その成果を発表する機会等を創る。

イ　子どもを対象とした鑑賞型・体験型事業

未就学児の創造性を豊かに，また，舞台芸術文化に身近に触れる機会を提供するため，音楽，リズム遊び，ダンスなどを取り入れた体験型プログラム「みんなで遊ぼう！親子でコンサート～うたって！おどって！たのしんで！」を地域文化会館４館で開催しました。

（３）地域連携を実現する参加型事業

ア　地域の伝統芸能を披露

古都京都の財産である地域の芸能を市民に披露する事業として，各地域文化会館において地域の伝統芸能の掘り起しを行い，伝統芸能事業を開催しました。右京ふれあい文化会館では未来へつなぐ伝統芸能シリーズとして「能」の歴史をわかりやすく解説・仕舞体験・鑑賞する入門講座「はじめての能　超入門講座」を実施し，鑑賞のポイントや「能」の魅力を紹介しました。また，東部文化会館では平安雅楽会による管弦と舞楽の実演と解説を交えて「地域のみんなの雅楽鑑賞会」，西文化会館ウエスティでは，新京極誓願寺が落語発祥の地といわれる由来を誓願寺僧侶が解説し，京都出身の桂よね吉が京都にまつわる落語を披露する伝統芸能シリーズ「京都と落語」を開催しました。

（参考）各地域文化会館の開催内容

会館名	タイトル	内　　容
東部文化会館	地域のみんなの雅楽鑑賞会	管弦と舞楽の実演や解説を交えた雅楽公演
呉竹文化センター	藤森神社 藤森雅楽会による雅楽鑑賞会	（台風により中止）
西文化会館ウエスティ	伝統芸能シリーズ 「京都と落語」	新京極誓願寺が落語発祥の地といわれる由来を解説，京都出身の桂よね吉が京都にまつわる落語を披露
北文化会館	KITABUN 伝統音楽体験会 夏休み！わくわく和楽器体験教室	地元大学邦楽部と和楽器店による箏，三味線，尺八の解説付き演奏会
右京ふれあい文化会館	はじめての能　超入門講座	「能」の歴史をわかりやすく解説・仕舞体験・鑑賞する入門講座

イ　地域と連携しアーティストのパフォーマンスを支援

西文化会館ウエスティでは地域のネットワークを活用し，地元で活動している文化芸術活動団体にパフォーマンスの場を提供し，アーティストの技術・芸術性向上を支援するため，地域文化芸術活動活性化協議会との連携により「ウエスティ・パフォーマンス広場」を年２回開催しました。また，東部文化会館では，市営地下鉄山科駅「音の広場」において，地域の文化芸術活動団体がパフォーマンスを行う「ナイス・ミート@エコム２０１８」を年１２回開催しました。

ウ　ワークショップ「舞台なんでも塾」の開催

専門性豊かな技術担当者による舞台運営方法や企画・制作，舞台機器の技術指導，舞台安全対策などの講習を地域文化会館で開催し，舞台芸術に触れる機会を提供することで，次世代の文化芸術の担い手を育成するため，東部文化会館では地元の高校生を対象に，演劇について講習会を開催しました。

（４）会館プロデュースによる参加促進型事業

ア　市民参加型事業（活動団体の支援）

市民の誰もが自己表現できることに感動できる事業として，西文化会館ウエスティと呉竹文化センターでは「市民創造ステージ」，東部文化会館では地域のコーラス団体による「第１４回コーラスフェスティバルin山科・醍醐」，また，右京ふれあい文化会館では「右京ワールドミュージックフェスタ２０１９」や大人のバンド活動を応援する「おとなBAND SESSION」，北文化会館ではアコースティック楽器の演奏による「KITABUNの春・音楽会」を開催しました。

イ　創作文化活動の作品展示

創作文化活動を行う個人・団体を対象に，会館施設の一部を作品展示の場として無料で提供する東部文化会館の「ギャラリーエコム」，呉竹文化センターの「呉竹アートケース」，西文化会館ウエスティの「ウエスティ　ギャラリー」，北文化会館の「KITABUN ミニギャラリー」，右京ふれあい文化会館の「右京ふれあいミニギャラリー」を通年で開催しました。また，東部文化会館においては，市営地下鉄椥辻駅構内の「アートロードなぎつじ」において山科区役所が実施する「アートロードなぎつじギャラリー」の受付事務を行うなど，地域の皆様の創作活動の作品展示の場を提供しました。

（５）アウトリーチ事業

協力団体（文化芸術活動団体）を開催団体（学校等の教育施設，病院や福祉施設，商業施設等）に派遣し，ワークショップやミニコンサートを行うアウトリーチ事業を，平成３０年度は５館で計７５公演実施しました。具体的活動として，まちを音楽で盛り上げる「第1回 KYOTO伏見音楽祭」では，会場の伏見みなと公園で協力団体が演奏しました。西文化会館ウエスティでは，落語やサックスアンサンブルが老人クラブや小学校において寄席，ミニコンサートを実施し，右京ふれあい文化会館では，地域の小学校で児童が生の演奏に触れるミニコンサートやワークショップを実施するなど，５つの文化会館で，市民が身近に文化芸術に触れる機会を創出しました。

（参考）各会館のアウトリーチ事業（一部）

会 館 名	内　容
東　部　文　化　会　館	月影文庫（私設図書館）において，「倉田悠生（アコーディオン)」によるミニコンサートを実施
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	吉祥院ふれあいサロンにおいて，「龍谷大学落語研究会」が寄席を実施
西文化会館ウエスティ	洛西老人福祉センターが開催する地域交流事業において，「邦楽一心（尺八，三味線，箏」が邦楽を披露
北　文　化　会　館	西賀茂中学校において，「吹奏楽団 雅」によるミニコンサートを実施
右京ふれあい文化会館	右京区役所ロビーにおいて，毎月恒例のコンサートに「山田園子（ヴァイオリン）西村佳子（ピアノ)」が出演

（６）多彩な文化芸術活動を支援する事業

ア　文化芸術活動パワーアップ支援事業

演劇，舞踊，伝統芸能などの舞台芸術や絵画・工芸品の作品展示など，幅広い市民の文化芸術活動に対し，各地域文化会館のコーディネイターが施設活用や舞台づくりのアドバイスを行い，芸術性や創作性の向上に向けた支援を行うとともに，経費の一部を助成する「文化芸術活動パワーアップ支援事業」を継続実施しました。

（参考）平成３０年度は１団体を支援

会　館　名	支援団体・個人名	活動（企画）名
西文化会館ウエスティ	ウエスト・ワクワク倶楽部（山下重喜）	ウエスト・ミュージック・フェスタ

※　文化芸術活動パワーアップ支援事業とは

地域文化会館のコーディネイト力を活用して，市民文化活動の芸術性の向上，文化芸術団体相互のネットワークの強化，地元団体と文化芸術団体との連携の促進等に取り組むことにより，地域の文化芸術活動の活性化を図ることを目的として行う事業です。

イ　舞台芸術活動なんでも相談会

市民の舞台芸術の芸術性や創造性を高めるため，公演やコンサートの照明・音響の演出，舞台運営方法など舞台づくりに関する相談について，専門性豊かな技術担当者が提案やアドバイスを継続実施しました。

（７）京都市交響楽団との連携事業

ア　鑑賞型事業の実施

市民の誰もが気軽にクラシック音楽を楽しんでいただけるよう入場料を廉価に設定し，何処かで聴いたことのある楽曲を京都市交響楽団のメンバー「京都しんふぉにえった」による「ちょっと素敵な朝からクラシック」を呉竹文化センター２公演，北文化会館１公演を開催しました。

イ　ワークショップの開催

地域の音楽活動団体を対象に，京都が誇る京都市交響楽団の指揮者による演奏指導などのワークショップの場と，一般公開によりその風景を鑑賞いただく「指揮者のお仕事！ハーモニーって？」を西文化会館ウエスティで開催しました。

ウ　京都市ジュニアオーケストラの活動支援

京都市交響楽団が指導する「京都市ジュニアオーケストラ」の音楽活動を充実させるため，練習会場として北文化会館など，地域文化会館を活用するとともに，活動内容の情報を発信するなど，若いオーケストラを支える環境づくりに取り組みました。また，北文化会館において，京都市ジュニアオーケストラの練習公開事業を実施しました。

（８）ロームシアター京都との連携事業

地域の文化芸術の拠点として機能する地域文化会館５館と，文化芸術の創造・発信拠点であるロームシアター京都が連携し，「地域の課題を考えるプラットフォーム CIRCULATION KYOTO（サーキュレーション キョウト）－劇場編」と題し，５組のアーティストが独自の切り口と方法論で創造し，地域文化会館５館において，リレー形式で新作を４ヶ月に渡り発表し，観客の想像力によってアーティストとつながることを試みる作品を披露しました。

（参考）文化会館における事業・公演数の変遷

年　度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業数	53 事業	43 事業	52 事業	50 事業
公演数	78 公演	70 公演	75 公演	74 公演
講座数	5 講座	2 講座	11 講座	20 講座

※ 上記の数にアウトリーチ事業は含まない

Ⅱ　受託事業

１　指定管理業務

（１）施設（貸館）の利用実績

地域文化会館（ホール）が市民の文化芸術活動の拠点としての役割を十分果たすとともに，指定管理者として利用料金収入の増収を図るため，営業の強化に努めるとともに割引制度などを導入し利用の促進を図りました。

東部文化会館

ア　日数利用率

区　　分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用率（日数）の目標値	61 ％	61 ％	62 ％	62 ％
利用率（日数）の実績値	60 ％	61 ％	59 ％	64 ％
目　標　達　成　度	98.4 ％	100 ％	95.2 ％	103.2 ％

イ　入場者数及び利用料金収入額

区　　分	平成29年度	平成30年度
入場者数（ホール）数値	42,243 名	43,127 名
利用料金収入額	29,705 千円	30,756 千円
駐車場利用料金収入額	3,763 千円	3,955 千円

呉竹文化センター

ア　日数利用率

区　　分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用率（日数）の目標値	77 ％	80 ％	80 ％	78 ％
利用率（日数）の実績値	79 ％	78 ％	76 ％	74 ％
目　標　達　成　度	102.6 ％	97.5 ％	95.0 ％	94.9 ％

イ　入場者数及び利用料金収入額

区　　分	平成29年度	平成30年度
入場者数（ホール）数値	61,513 名	59,884 名
利用料金収入額	40,044 千円	37,665 千円

西文化会館ウエスティ

ア　日数利用率

区　　分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用率（日数）の目標値	61 ％	61 ％	66 ％	62 ％
利用率（日数）の実績値	57 ％	66 ％	57 ％	60 ％
目　標　達　成　度	93.4 ％	108.2 ％	86.4 ％	96.8 ％

イ　入場者数及び利用料金収入額

区　　分	平成29年度	平成30年度
入場者数（ホール）数値	48,743 名	34,678 名
利 用 料 金 収 入 額	32,806 千円	31,099 千円
駐車場利用料金収入額	5,129 千円	5,003 千円

北文化会館

ア　日数利用率

区　　分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用率（日数）の目標値	80 ％	82 ％	80 ％	80 ％
利用率（日数）の実績値	82 ％	78 ％	77 ％	77 ％
目　標　達　成　度	102.5 ％	95.1 ％	96.3 ％	96.3 ％

イ　入場者数及び利用料金収入額

区　　分	平成29年度	平成30年度
入場者数（ホール）数値	35,086 名	35,666 名
利 用 料 金 収 入 額	37,187 千円	38,126 千円

右京ふれあい文化会館

ア　日数利用率

区　　分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用率（日数）の目標値	76 ％	76 ％	76 ％	76 ％
利用率（日数）の実績値	73 ％	74 ％	77 ％	69 ％
目　標　達　成　度	96.1 ％	97.4 ％	101.3 ％	90.8 ％

イ　入場者数及び利用料金収入額

区　　分	平成29年度	平成30年度
入場者数（ホール）数値	43,564 名	41,727 名
利 用 料 金 収 入 額	36,572 千円	33,631 千円
駐車場利用料金収入額	5,325 千円	4,286 千円

（２）舞台運営に関する企画等

主催者から舞台美術，舞台音響，舞台照明等に関する企画業務を受託しました。これまでの舞台運営業務を通して蓄積したノウハウを利用者に提供し，利用者はもとより，観客に満足していただける舞台運営に努めました。

（参考）平成３０年度　催し物の企画業務に関する受託状況

会　館　名	受託件数	受 託 内 容	収 入 金 額
東　部　文　化　会　館	1 件	バレエ発表会	10,800 円
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	3 件	バレエ発表会	32,400 円
西文化会館ウエスティ	5 件	歌謡フェスティバル 幼稚園生活発表会　他	54,000 円
右京ふれあい文化会館	3 件	バレエ・ダンスコンサート 舞台発表会　他	59,400 円
計	12 件		156,600 円

２　お客様へのサービス向上に向けた取組

（１）お客様満足度向上委員会（CS委員会）の推進【再掲】

京都コンサートホール　７ページ参照

（２）アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様ご意見箱の設置【再掲】

京都コンサートホール　７ページ参照

（３）施設・設備の維持管理

東部文化会館，呉竹文化センター，西文化会館ウエスティ，北文化会館はいずれも開館から２０年以上が経過しているため，施設の所有者である京都市による施設の改修及び修繕のほか，財団でも，京都市との指定管理契約に基づき，計画的な改修並びに修繕に取り組みました。

（参考）主な修繕事例（財団実施分）

会　館　名	修　繕　内　容
東　部　文　化　会　館	館内雨漏り修繕
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	西側屋外照明修繕
西文化会館ウエスティ	消防設備不良個所修繕
北　文　化　会　館	創造活動室床塗装修繕
右京ふれあい文化会館	ホール非常口誘導灯取替修繕

３　利用促進向上の取組

（１）地域文化会館割引制度

平成２３年度からの利用料金制度導入に伴い，地域文化会館のホール利用を促進するため，平日のホールの追加利用・区分連続利用に対するサービスの向上に努めました。

ア　平日直前利用割引制度

京都コンサートホール（大ホール・アンサンブルホールムラタ），地域文化会館（ホール）のいずれかで，演奏会・コンサート・講演会等の諸手続きが完了しており，ホール本番利用日の２箇月前の日から本番までの平日利用に限り，ホールを準備・リハーサル等で新たに利用される場合は，利用料金の５０％を割り引く制度。

平成３０年度 平日直前利用割引制度適用件数

会　館　名	受託件数	主 な 利 用 者
東　部　文　化　会　館	5 件	学校関係，保育所，バレエ教室
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	2 件	学校関係，バレエ教室，
西文化会館ウエスティ	6 件	学校関係，音楽教室
北　文　化　会　館	3 件	学校，企業等
右京ふれあい文化会館	9 件	各種学校，福祉施設
計	25 件	

イ　平日連続区分利用割引制度

ホールを平日に２区分以上連続して利用する場合は，利用料金の１５％を割り引く制度。

平成３０年度 平日連続区分利用割引制度適用件数

会　館　名	受託件数	主 な 利 用 者
東　部　文　化　会　館	49 件	学校関係，保育所，バレエ教室等
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	62 件	学校関係，保育所，劇団等
西文化会館ウエスティ	34 件	学校関係，企業
北　文　化　会　館	41 件	学校関係，音楽教室等
右京ふれあい文化会館	39 件	中学校・高校吹奏楽部，バレエ教室等
計	225 件	

■　ロームシアター京都

Ⅰ　自主・共催事業〔全３１事業９５公演〕

平成３０年度は，２９年度に新たに始めた取組をより深めるべく，ロームシアター京都オープニング事業の４つの要素「創造」「育成」「交流」「生活」を核としながら，洋の東西を問わず世界水準の優れた作品をお届けすることはもちろん，劇場の財産となる作品のプロデュースや次代を担う芸術家の育成にも取り組んでまいりました。更にロームシアター京都が開かれた場として，人々の交流を活性化させるべく，京都の様々な施設や団体と連携しながら，地域に根をおろしていく事業を展開しました。あわせて，賑わいスペース事業やミュージックサロン事業等により，賑わいの創出や身近に文化芸術に親しむための取組を進めました。

１　主催・共催事業関連

平成３０年度のテーマは古今東西のクラシック（古典）を再訪し，それらが繰り返しレパートリーとして上演されることの意義や，新しい創作にインスピレーションを与える意義にラインアップを通じて光を当てていくことでした。同時に作品と社会の関係や，作品を創造し育むための様々な視点を得ながら，ロームシアター京都ならではの方法を試行錯誤し，今日における劇場の果たすべき役割を検討しました。

上記の目的のため，自ら舞台芸術作品を企画・制作するシリーズ，他の劇場・芸術団体と共同で新作を制作するシリーズを発展させました。さらに，地域文化会館や青少年活動センターなど，京都で活動する他の文化施設と連携し，京都における文化芸術のハブとしての機能を高めるための事業を実施しました。また，引き続き，小澤征爾音楽塾や新国立劇場高校生のためのオペラ鑑賞教室といった次代を担う若者を育成する事業や，京都岡崎音楽祭や京都国際舞台芸術祭といった国内外の交流と地域の賑わいを創出する事業を実施しました。

【主な事業】

● 演劇

・第３４０回～第３４４回　市民寄席

・レパートリーの創造 木ノ下歌舞伎『糸井版　摂州合邦辻』

・ミュンヘン・カンマーシュピーレ『NŌ THEATER』

・地点『忘れる日本人』

・シリーズ　舞台芸術としての伝統芸能 vol.2 能楽『鷹姫』

・MONO『はなにら』

● 舞踊

・「芒（のぎ）の植え付け」「踊り場・叩き場/田中泯meets中村達也」

・ロレーヌ国立バレエ団 トリプルビル

・笠井叡迷宮ダンス公演『高丘親王航海記』

● 音楽

・京都岡崎音楽祭2018 OKAZAKI LOOPS
タンブッコ・パーカッション・アンサンブル コンサート

・新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演「魔笛」

・京響クロスオーバー 「バレエ×オーケストラ」～ニューイヤー・ガラ～

・小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXⅦ ビゼー：歌劇「カルメン」

● 総合

・KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2018

・ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム“KIPPU”

・KYOTO STEAM-世界文化交流祭-prologue
ダムタイプ 新作ワークインプログレス 2019

● 参加する劇場へ ～学芸・教育プログラム

ロームシアター京都が開かれた場所として，人々の交流や憩いの場となるよう，さまざまな形で積極的に参加できる取組を行いました。

・プレイ！シアター in Summer

・ロームシアター京都×（公財）京都市ユースサービス協会連携事業
「未来のわたし ―劇場の仕事―」

・ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業
地域の課題を考えるプラットフォーム「CIRCULATION KYOTO ― 劇場編」

・ロームシアター京都 リサーチプログラム

・「いま」を考えるトークシリーズ vol.5～vol.8

２　賑わいスペース事業

「京都会館賑わいスペース事業プラン」を推進するため，賑わいスペース事業者として京都市に選定されたカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（CCC）と調整・連携を図り，市民や観光客の皆様の新たな憩いの場となるパークプラザを中心に，ブック&カフェ，レストラン，キオスクといった常設の店舗が高い評価を得て運営されるよう努めました。

また，ロームシアター京都が，舞台芸術のためだけでない，より開かれた場として多くの方の交流の場となることを目指し，賑わいスペース事業者と連携し，「建築・デザイン・食」などをコンセプトとした生活文化等に関わる様々な文化イベントを実施しました。

事業内容	店舗名	営業時間
ブック&カフェ （パークプラザ１階）	京都岡崎 蔦屋書店 スターバックスコーヒー	午前８時から午後１０時
レストラン （パークプラザ２階）	京都モダンテラス	午前８時から午後１１時
キオスク（サウスホール１階 ホワイエ内）	ファミリーマート	午前８時から午後１０時
ギャラリー・ライブラリー （パークプラザ３階共通ロビー）	BOOK & ART GALLERIA	午前９時から午後７時 （開館時間等に応じて変更）

実績　入店者数

区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
入　店　者　数　の　実　績　値	1,917,253 名	1,773,488 名	1,708,053 名

３　ミュージックサロン事業

音楽をはじめとした文化芸術に様々な形で触れ合うことができる音楽総合体験施設「ミュージックサロン」（パークプラザ３階）を，公益財団法人ローム ミュージック ファンデーションと共同運営しています。

ミュージックサロンでは，①音楽その他文化芸術に関する資料の展示，②セミナー，講演会，コンサート等の文化芸術イベントの開催，を中心としており，平成３０年度は，ローム ミュージック ファンデーションが支援した音楽家等による隔月のコンサートのほかに，企画展示会「オペラの扉～KNOCK THE DOOR OPERA EXHIBITION～」や，小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト公演に合わせた「小澤征爾音楽塾展２０１９」などを開催しました。実際に使用された貴重な衣装などを映像や写真とともに展示し，子どもから大人まで多くの方がオペラに親しみ，楽しむきっかけになることを目的に行い，多くの方に鑑賞いただきました。

開催内容

期間	内容
4/2　～　4/15	【上映】「ヴィオラってどんな楽器？」オンザ・スクリーン
4/16　～　4/30	【上映】「クラリネットをあなたに～モーツァルトからガーシュインまで～」 オンザ・スクリーン
5/1　～　5/31	【上映】「京都・国際音楽学生フェスティバル」オンザ・スクリーン
5/20　～　5/20	ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート オーケストラの楽器シリーズ 「オーボエで歌い・舞う！～こころに沁み入る音色～」コンサート
6/1　～　6/15	【上映】「作曲家について知ろう～ショパンとリストをたどって～」 オンザ・スクリーン
6/16　～　6/30	【上映】「舞曲でめぐるヴァイオリンの魅力」オンザ・スクリーン
7/1　～　7/15	【上映】「トランペットの魅力，再発見！～ロシア音楽・ロマン派の旅～」 オンザ・スクリーン
7/16　～　7/31	【上映】「歌うコントラバス」オンザ・スクリーン
8/1　～　9/15	【上映】スカラシップコンサート オン ザ・スクリーン
8/4　～　8/4	ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート オーケストラの楽器シリーズ 「ハープの優雅な調べ～知られざるハーピストの苦悩～」コンサート
9/17　～　9/17	ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート オーケストラの楽器シリーズ 「木管のお父さん ファゴット～魅力ある低音のダンディズム～」コンサート
9/19　～　11/29	【展示】ROHM CLASSIC SPECIAL オペラの扉 2018 ～KNOCKING ON THE DOOR,OPERA EXHIBITION～
12/1　～　12/2	ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート 作曲家シリーズ 「ベートーヴェンの世界 三大ピアノ・ソナタ～ベートーヴェンが愛した楽器～」 コンサート
12/3　～　1/17	【展示】小澤征爾音楽塾展（第１部）
1/19　～　1/20	ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート 作曲家シリーズ ベートーヴェンの世界～弦楽四重奏で読み解くベートーヴェン～
1/22　～　3/28	【展示】小澤征爾音楽塾展（第２部）
2/16　～　2/16	小澤征爾音楽塾展コンサート vol.1＜チェロ編＞ ～塾生が奏でるそれぞれのカルメン～

3/23　～　3/23	小澤征爾音楽塾展コンサート vol.2＜クラリネット編＞ ～塾生が奏でるそれぞれのカルメン～
3/24　～　3/24	小澤征爾音楽塾展コンサート vol.3＜ヴァイオリン編＞ ～塾生が奏でるそれぞれのカルメン～
3/30　～　3/31	ROHM CLASSIC SPECIAL　トーク&コンサート　作曲家シリーズ ベートーヴェンの世界～ヴァイオリンが告げる春～

実績　来場者数

区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
来　場　者　数　の　実　績　値	18,278 名	12,203 名	9,440 名

Ⅱ　受託事業

１　指定管理業務

（１）施設（貸館）の利用実績

平成２８年１月にリニューアルオープンしたロームシアター京都は，平成３０年度においても，各施設の特性を生かした舞台芸術公演や式典，集会やMICEといった様々な利用で，非常に多くの方にご利用いただくことができました。

多様な利用内容に伴う様々なニーズに応えられるよう，利用者やお客様のご案内，場内サービス，迅速な利用許可，各種設備の運転等について，実際の利用状況や利用者からのご意見等を踏まえた確認・改善を引き続き進め，安全，安心で快適な劇場空間の提供に努めました。

また，下見や利用相談への丁寧な対応，また利用者アンケートの実施等により，繰り返しロームシアター京都をご利用いただけるよう，様々な貸館利用の促進に向けた取組を行いました。

実績１　日数利用率

区　分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
メインホール	利用率(日数)の目標値	82 ％	85 ％	83 ％
	利用率(日数)の実績値	92 ％	82 ％	81 ％
	目　標　達　成　度	112.1 ％	96.4 ％	97.6 ％
サウスホール	利用率(日数)の目標値	80 ％	75 ％	82 ％
	利用率(日数)の実績値	81 ％	76 ％	80 ％
	目　標　達　成　度	101.2 ％	101.3 ％	97.6 ％
ノースホール	利用率(日数)の目標値	73 ％	76 ％	75 ％
	利用率(日数)の実績値	71 ％	74 ％	72 ％
	目　標　達　成　度	97.2 ％	97.3 ％	96.0 ％

実績２　入場者数

区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
入　場　者　数　の　目　標　値	450,000 名	450,000 名	510,000 名
入　場　者　数　の　実　績　値	496,240 名	707,367 名	497,784 名
目　標　達　成　度	110.2 ％	157.2 ％	97.6 ％

実績３　利用料金収入額

区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利　用　料　金　収　入　の　目　標　値	290,000 千円	323,000 千円	328,000 千円
利　用　料　金　収　入　の　実　績　値	352,462 千円	353,364 千円	333,812 千円
目　標　達　成　度	121.5 ％	109.4 ％	101.8 ％

（２）岡崎公園の利用受付業務

ロームシアター京都に隣接する岡崎公園の利用受付等に関する業務を当財団が京都市より受託し，申請書の受付等の業務を行いました。

２　お客様へのサービス向上に向けた取組

（１）CS会議や研修等の実施

利用者・来場者の安心・安全を確保し，施設管理運営における問題点の改善やサービス向上のため，職員や委託業者が参加するCS（顧客満足度向上）会議や研修等を開催しました。

（２）賑わいスペース事業者定期連絡会の開催

賑わいスペース事業における各店舗の責任者等との定期的な連絡会を開催し，日常的な施設運営に係る様々な情報共有を行い，サービスの向上に努めました。

（３）アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」の設置【再掲】

京都コンサートホール　７ページ参照

（４）施設・設備の維持管理

開館から３年が経過し，多くの利用をいただく中で，施設としての機能を適切に維持するために修繕等を実施したほか，利用者，観客等の安全面や快適性を視野に入れた機能向上に引き続き取り組んでいます。所有者である京都市による施設・設備の修繕のほか，財団におきましても京都市との指定管理契約に基づき，修繕や機能向上に取り組みました。

（参考）主な機能向上等事例（財団実施分）

施　設　名	機　能　向　上　内　容
サウスホール	舞台　床張替修繕（部分）
ノースホール	楽屋　洗濯機設置
メインホール・サウスホール・ノースホール	楽屋　Wi-Fi設置工事
全　　館	トイレ　集中清掃

３　広報・宣伝，チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務

自主事業ラインアップ・リーフレット，催物カレンダーの作成，ホームページやSNSの運用，賑わい事業者と連携した取組，また，様々な広報媒体への働きかけ等により，効果的な情報提供や話題作りを行い，新たな劇場への期待感を高めるとともに，施設の認知度を高める取組を進め，来場者や利用者の増加につなげました。

加えて，企業からの協賛金や文化庁を始めとする各種助成金の獲得へ向けた取組を行うとともに，平成２６年度に開始した賛助会員制度（サポーター・パートナー会員）についても，

新規の会員獲得に引き続き取り組み，外部資金の獲得等による劇場経営の基盤強化を図り，積極的な事業展開につなげてまいりました。

（１）自主事業ラインアップ・リーフレットの発行

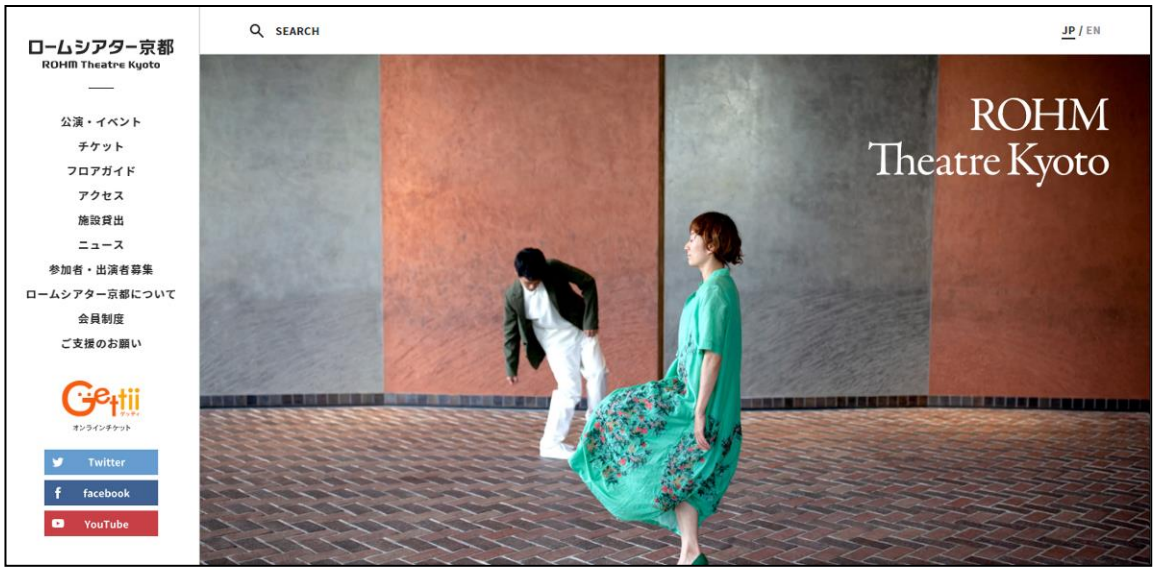
平成２９年度から引き続き，自主事業ラインアップを事業の趣旨に分類して紹介するレイアウトで構成し，２回発行しました。（春号：平成３０年４月，秋号：１０月）

（２）催物カレンダーの発行

ロームシアター京都が自ら企画する主催・共催事業のほか，ロームシアター京都で開催される最新の催物情報を掲載したものを毎月発行し，催し物情報の提供やチケット販売促進に努めました。

（３）ホームページ等の充実

ホームページについては，アクセス分析等を踏まえ，大幅なデザイン変更を行いました。また，FacebookやTwitter等のSNSも活用し，効果的な情報提供に努めました。



（４）チケット票券管理システムの効果的な運用【再掲】

京都コンサートホール　９ページ参照

（５）貸館利用者のチケット販売受託業務の実施【再掲】

京都コンサートホール　９ページ参照

（６）外部資金の獲得【再掲】

京都コンサートホール　１２ページ参照

４　各種会員制度の運営

（１）各種会員制度の会員数拡大に向けた取組【再掲】

京都コンサートホール　１２ページ参照

（２）賛助会員制度の運営【再掲】

京都コンサートホール　１２ページ参照

■　京都市交響楽団

Ⅰ　自主・共催事業
〔全２８事業５２公演（ただし，演奏事業に限る。）〕

１　定期演奏会
日本を代表する３人の常任指揮者陣，広上淳一，高関健，下野竜也のそれぞれの特色を生かした個性的なプログラムに加え，世界で活躍する指揮者やソリストを迎え，芸術性の高い演奏会を提供しました。

２　特別演奏会
スプリングコンサートは，常任首席客演指揮者の高関健の指揮により，２０１８年に生誕１００年を祝うバーンスタインの「キャンディード」序曲やベルリオーズの「幻想交響曲」など，名曲の中に描かれている情景やストーリーをオーケストラの豊かで色彩感にあふれる音色でご堪能いただきました。

年末恒例の第九コンサートでは，常任首席客演指揮者の下野竜也の指揮により，シェーンベルクの「ワルシャワの生き残り」を，男声合唱と管弦楽にシュプレッヒシュティンメ（語るような歌唱法）で歌われる語りを交え，第２次世界大戦中の深い悲しみを乗り越え，世界平和を謳うベートーヴェンの「歓喜の歌」へと厳かに導かれました。

また，ニューイヤーコンサートでは，常任首席客演指揮者の高関健の指揮により，新しい年のスタートを華やかに，音楽の都ウィーンの薫りに包まれた，エレガントで心躍る新春のひとときをお楽しみいただきました。

３　市外公演
世界に誇れるオーケストラとして，京都市交響楽団を広く国内外へアピールし，実力に相応しい知名度や評価を全国区で確固たるものとするため，恒例となった大阪・名古屋での公演を行いました。

４　オーケストラ・ディスカバリー　～こどものためのオーケストラ入門～
「Bravo！オーケストラ」と題して，オーケストラやクラシック音楽が持つ魅力を名曲の演奏と楽しいお話でご案内しました。青少年の情操の向上や健全な心の育成とともに，若い世代へのオーケストラの振興と普及を図ることを目的として，年4回のシリーズ券を設定することにより，定期演奏会の会員への導入コンサートとしての位置づけで開催し，将来のクラシック愛好家を育みました。

５　みんなのコンサート
地域の文化会館を会場に低料金で０才から入場できる演奏会を開催し，日頃クラシック音楽に接する機会の少ない市民の皆様にも身近で生の演奏に接する機会を提供し，地域密着型のオーケストラとしてクラシック音楽の普及，クラシック音楽ファンの醸成，京響ファンの獲得を図りました。

６　京響プレミアム

クラシック音楽のジャンルを超えたアーティスト・芸術文化とのコラボレーションによる演奏会を，京都のほか，愛知，東京でも開催し，オーケストラの生み出す新しい音楽世界の魅力を提供することにより，幅広いオーケストラファンの獲得を図りました。

７　京都発見！クラシック

奥田瑛二をゲストに迎え，指揮者とのトークステージの後，オーケストラ演奏をお届けする「京都発見！クラシック」を平日の昼間に開催することにより，シニア層を中心とするお客様にお楽しみいただくとともに，新しいクラシックコンサートの形を体験いただきました。

８　共催事業

京都市内の小・中学校の全児童・生徒を対象とした音楽鑑賞教室を開催し，クラシック音楽の普及と新たなクラシックファンの獲得を図りました。

９　その他演奏会等

（１）楽器講習会等

吹奏楽連盟の協力のもと，中学生や高校生を対象に，楽器の実技指導や音楽全般に関する指導・助言を行いました。また，訪問演奏や派遣演奏など，京都市が開催する行事等への参加も行いました。

（２）練習風景公開

京都市交響楽団が身近な存在であることをアピールし，より一層の関心をもってもらうために，練習場において合奏練習している姿を一般に公開し，聴衆拡大につなげました。

（３）京響コーラス

平成７年に発足した「京響第九合唱団」を母体とする市民合唱団を平成２４年度から京都市交響楽団との共演を軸にオーケストラ合唱作品を中心に活動する京響附属合唱団「京響コーラス」に改名し，その運営に携わり，８月の定期演奏会，１２月の特別演奏会（第九）などで共演を行いました。

（４）京都市ジュニアオーケストラ，若手音楽家との連携

京都市ジュニアオーケストラの演奏指導を行うなど，将来の音楽文化の担い手を育成し，京都の音楽文化の更なる発展を目指して演奏指導を行いました。

Ⅱ　受託事業

「広上淳一 京都市交響楽団 音楽維新の旅（岩国，高知公演）」等，京都市交響楽団の京都市内外での知名度の向上を図るとともに，より充実した自主事業を実施するための資金を獲

得するため，学生を対象とした音楽鑑賞教室やびわ湖ホール主催のオペラなど，３６事業５３公演の企画及び開催業務を受託しました。

■その他取組

Ⅰ　事業運営の透明化，適正化の推進

１　企画運営委員会（全４回）・貸館等審査委員会

京都コンサートホール及びロームシアター京都を審議対象とする「公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団企画運営委員会」を四半期毎に開催し，企画・運営に関する基本事項の審議や助言をいただきました。

また，両館の貸館事業をより適切に運営するため，「貸館等審査委員会」を開催し，事業運営の透明化及び適正化の推進を図ってまいりました。

２　舞台芸術専門委員会

舞台芸術の専門委員による舞台芸術専門委員会を開催し，京都ならではの舞台芸術の創造や発信を目的とする舞台芸術活動の助言をいただきました。

Ⅱ　環境への配慮

「環境モデル都市・京都」の取組として，平成２０年２月に認証取得したKESステップ１について，平成３１年２月に継続認証を取得しました。

また，前年度に引き続き，平成３０年１１月に開催された「世界の京都・まちの美化市民総行動」による京都市内の美化活動に当財団職員も多数参加し，地球環境にやさしいまちづくりに貢献しました。

Ⅲ　情報の収集

１　公立文化施設協議会

公立文化施設を構成員とする，公益社団法人全国公立文化施設協会，公益社団法人全国公立文化施設協会近畿支部，京都府公立文化施設協議会に京都コンサートホール，ロームシアター京都が加盟し，事業に参画しました。

２　コンサートホール企画連絡会議等への参加

運営環境が類似する国内主要ホールを構成員とするコンサートホール企画連絡会議に京都コンサートホールが参画し，事業や昨今の公立施設を取り巻く環境の変化について情報収集を行いました。

■　組織運営のための取組

Ⅰ　人材育成・職員研修

職員一人ひとりが，常に知識，意欲，技術の向上を図ることで，利用者により一層好感度を高めていただくとともに，市民の文化芸術活動を適切に支援し，さらに当財団が文化芸術の振興のための事業を効果的に行うことができるよう研修を実施しました。

平成３０年度は財団職員としての心構えを身に付け，組織の一員としての自覚を持って職務を遂行するために新規採用職員等基礎研修を行いました。

接遇・応対研修については，平成２９年度に引き続き実施し，職員の接遇・応対マナーの向上に取り組みました。

また，各施設において消防訓練の実施や，AED講習など，様々な危機管理・安全対策研修や講習を実施することにより，当財団職員の緊急時における対応・知識力を向上させ，不測の事態にも冷静に対応できるように備えました。

さらに，ロームシアター京都においては，舞台安全管理研修等も実施し，お客様に安全・安心に施設をご利用いただけるよう万全の態勢を整えました。

（参考）平成３０年度　研修内容

研 修 名	新規採用職員等基礎研修
実 施 日	平成30年6月5日（火）
受講人数	24名
研修内容	・財団の概要 ・劇場運営の基礎知識 ・舞台運営の基礎知識
会　　場	ロームシアター京都
研 修 名	接遇マナー研修
実 施 日	平成31年2月22日（火）
受講人数	81名
研修内容	研修「接遇マナー研修」 講師 株式会社インソース　重里　恭子　氏
会　　場	北文化会館

Ⅱ　新人事給与制度の更なる強化

平成２５年４月から運用を開始した新人事給与制度により，経営の安定化を図るとともに，プロパー職員が財団運営の中心となって働きがいのある職場づくりを進めるよう取り組んでまいりました。

また，平成２８年度からは嘱託職員の人事・給与制度の改正を行い，財団で働く職員全員が働きがいのある職場となるように努めてまいりました。

平成３０年度についてはこれまでの人事給与制度の運用を安定的に行うとともに，定年再雇用職員の人事制度を構築するなど更なる改革を実施してまいりました。

Ⅲ　組織・職員体制

１　組織改正

平成３０年度は平成２９年度に引き続き，総務部，事業管理部，ロームシアター京都，京都市交響楽団の４部門体制とし，管理運営施設の経営を総合的かつ安定的に展開するとともに，「中期経営計画２０２１」に掲げる目標の達成に向けた取組を推進してまいりました。

京都コンサートホール及びロームシアター京都は，指定管理者の最終年度を迎え，次期指定管理者の獲得を見据え，求められる役割や特性，機能を最大限に発揮することを目的に体制強化を図りました。

また，文化会館についても指定管理者の最終年度を迎えるに当たり，次期指定管理者の獲得を見据え，より適切な施設管理及び安定的な運営が推進できる体制を整えました。

２　組織運営

以下の会議開催により連絡体制の確立，情報の迅速な共有化等を図り円滑な財団運営に努めました。

①　財団定例会

構成員：専務理事，事務局長，ロームシアター京都副館長，事業管理部長，シニアマネージャー，総務課長，事業企画課長，管理課長，管理課担当課長，京都市交響楽団管理課長，チーフマネージャー，ロームシアター京都管理課長，総務係長，経理係長，事業企画係長，管理係長

②　文化会館館長会議

構成員：専務理事，事務局長，事業管理部長，総務課長，管理課長，管理課担当課長，文化会館館長，総務係長，経理係長，管理係長

③　文化会館連絡会議

構成員：管理課担当課長（チーフコーディネイター），管理係長，文化会館の副館長

④　ロームシアター京都定例会

構成員：専務理事，事務局長，ロームシアター京都副館長，総務部担当部長，事業管理部長，総務課長，ロームシアター京都管理課長，事業担当課長，舞台技術課長，ロームシアター京都管理係長，事業担当係長

これらの諸会議を通じ，京都コンサートホール，文化会館，ロームシアター京都及び京都市交響楽団の管理運営に係る事項について情報を共有し，貸館業務，施設管理業務の統一的な処理とそれぞれのホール特性に応じた自主事業の展開等について検討しました。

３　人事異動

平成３０年４月１日付けで総数２２名の人事異動を行いました。

（参考１）財団職員数の推移

職　名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
固　有　職　員	32 名	31 名	34 名	39 名
嘱　託　職　員	42 名	42 名	45 名	39 名
市からの出向職員	7 名	7 名	7 名	7 名
市派遣嘱託職員	89 名	87 名	85 名	84 名
計	170 名	167 名	171 名	169 名

※各年度すべて４月１日現在の人数とする

※平成２７年度については８月１日現在の人数とする

（参考２）財団役職別職員数の推移

職　名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
局　長　級	1 名	2 名	3 名	2 名
部　長　級	5 名	5 名	3 名	3 名
課　長　級	12 名	12 名	13 名	14 名
係　長　級	14 名	13 名	12 名	14 名
リーダー（主任）	14 名	13 名	14 名	11 名
職　員	36 名	36 名	41 名	41 名
音楽スタッフ	4 名	4 名	4 名	4 名
楽　団　員	84 名	82 名	81 名	80 名
計	170 名	167 名	171 名	169 名

Ⅳ　庶務報告

１　役員会の開催

平成３０年度は次のとおり，理事会及び評議員会を開催し，すべての議案について可決されました。

（１）第１回理事会　　平成３０年５月２３日

＜議案＞　・平成２９年度事業報告について
・平成２９年度特定費用準備資金の保有について
・平成２９年度補正予算について
・平成２９年度決算について
・平成３０年度特別寄附金の受領について
・平成３０年度補正予算について
・平成３０年度事業計画（追加）について
・平成３０年度第１回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項について

・京都国際舞台芸術祭（KYOTO EXPERIMENT）実行委員会への債務保証について
・顧問の選任について
・貸館等審査委員会，企画運営委員会及び舞台芸術専門委員会委員の選任について

＜報告＞　・元京響友の会会員からの訴訟提起について

（２）第１回評議員会　　平成３０年６月１９日

＜議案＞　・平成２９年度事業報告について
・平成２９年度決算について
・評議員の退任について
・監事の退任について
・理事の選任について
・評議員の選任について
・監事の選任について

＜報告＞　・中期経営計画２０２１について

（３）第２回理事会　　平成３０年６月１９日

（書面評決）

＜議案＞　・代表理事及び業務執行理事の選定

（４）第３回理事会　　平成３０年１１月１６日

＜報告＞　・京都市芸術文化施設等指定管理者の候補となる団体の選定結果について

＜議案＞　・平成３１年度主要事業計画について
・契約事務取扱要領第４条に基づき契約する業務について

＜報告＞　・地方公務員法及び地方自治法の一部改正に係る京都市交響楽団の対応について
・「京響友の会」元会員から訴訟された民事訴訟の判決について

（５）第４回理事会　　平成３１年２月６日

＜議案＞　・京都市交響楽団の当財団への受入れについて
・平成３１年度主要事業計画（追加）について

（６）第５回理事会　　平成３１年３月１９日

＜議案＞　・平成３１年度事業計画について
・平成３１年度収支予算について
・契約事務取扱要領第４条に基づく債務負担行為について

＜報告＞　・京都市交響楽団条例に係る京都市会の審議状況（要旨）について
・京都国際舞台芸術祭（KYOTO EXPERIMENT）実行委員会への債務保証について

２　役員の異動

（１）第１回評議員会による承認

ア　理事の就任

新再任の別	氏　名	役　職（承認日現在）	就　任　日
再任	青　山　　恒	NHKﾌﾟﾗﾈｯﾄ近畿総支社番組制作ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ	平成３０年６月１９日
〃	尾　池　和　夫	京都造形芸術大学学長	〃
新任	尾　崎　　学	京都市文化市民局文化芸術都市推進室長	〃
再任	榊　田　隆　之	京都信用金庫専務理事	〃
新任	砂　原　　悟	京都市立芸術大学音楽学部長	〃
再任	田　隅　靖　子	京都市立芸術大学名誉教授，京都ｺﾝｻｰﾄﾎｰﾙ館長	〃
〃	谷　口　　享	公益財団法人ﾛｰﾑﾐｭｰｼﾞｯｸﾌｧﾝﾃﾞｰｼｮﾝ事務局長	〃
新任	長　尾　　真	元京都大学総長，元国立国会図書館長	〃
再任	永　宗　秀　規	ｵﾑﾛﾝ株式会社ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ人財総務本部ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ総務部部長	〃
〃	中　山　幾美子	同志社女子大学音楽学科嘱託講師	〃
〃	藤　井　宏一郎	元京都市職員	〃

イ　監事の就任

氏　名	役　職（承認日現在）	就　任　日
川　端　昌　和	京都市文化市民局共同参画社会推進部長	平成３０年６月１９日

ウ　監事の辞任

氏　名	役　職（退任日現在）	辞　任　日
尾　崎　　学	前京都市文化市民局共同参画社会推進部長	平成３０年６月１９日

エ　評議員の就任

氏　名	役　職（承認日現在）	就　任　日
田　波　宏　視	ＮＨＫ京都放送局長	平成３０年６月１９日

オ　評議員の辞任

氏　名	役　職（退任日現在）	辞　任　日
寺　井　友　秀	前ＮＨＫ京都放送局長	平成３０年６月１９日

３　登記事項

第１回評議員会による評議員・理事の変更

（１）第１回評議員会による評議員・理事及び監事の変更

氏　名	登　記　日
理　事　青　山　恒	平成３０年７月３０日
理　事　尾　池　和　夫	平成３０年７月３０日
理　事　尾　崎　学	平成３０年７月３０日
理　事　榊　田　隆　之	平成３０年７月３０日
理　事　砂　原　悟	平成３０年７月３０日
理　事　田　隅　靖　子	平成３０年７月３０日
理　事　谷　口　享	平成３０年７月３０日
理　事　長　尾　真	平成３０年７月３０日
理　事　永　宗　秀　規	平成３０年７月３０日
理　事　中　山　幾美子	平成３０年７月３０日
理　事　藤　井　宏一郎	平成３０年７月３０日
評　議　員　田　波　宏　視	平成３０年７月３０日
監　事　川　端　昌　和	平成３０年７月３０日

『収益事業』

Ⅰ　公益目的外の施設提供事業

１　駐車場経営

指定管理業務として主に来館者向け駐車場として運営いたしました。

（参考）

会　館　名	駐車可能台数	収入金額
京都コンサートホール	100 台	17,956,200 円
東　部　文　化　会　館	37 台	3,955,000 円
西文化会館ウエスティ	53 台	5,002,900 円
右京ふれあい文化会館	67 台	4,285,700 円
計	257 台	31,199,800 円

２　オリジナルグッズ販売等

京都コンサートホールオリジナルグッズ（１１種類），音楽に関連したグッズ（約３０種類），ロームシアター京都オリジナルグッズ（１種類）及び京響オリジナルグッズ（３種類）を販売しました。

（参考）

項　目	収入金額
京都コンサートホールグッズ収入	452,262 円
ロームシアター京都グッズ収入	153,200 円
プ ロ グ ラ ム 等 販 売 収 入	1,321,160 円
チ　ケ　ッ　ト　印　刷	90,980 円
京 響 オ リ ジ ナ ル グ ッ ズ 収 入	298,552 円
計	2,316,154 円

３　プレイガイドの運営

主催者から，入場券の作成業務及び入場券の販売業務を受託し，それぞれのプレイガイドで販売しました。

（参考）入場券販売業務受託状況

会　館　名	受託件数	収入金額
京都コンサートホール	181 件	16,829,900 円
東　部　文　化　会　館	0 件	0 円
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	6 件	7,540 円
西文化会館ウエスティ	1 件	220 円
北　文　化　会　館	5 件	14,010 円
右京ふれあい文化会館	2 件	850 円
ロ ー ム シ ア タ ー 京 都	116 件	8,074,670 円
計	311 件	24,927,190 円

４　自動販売機の管理運営

京都コンサートホールに設置された自動販売機の管理運営を行いました。

（参考）

会　館　名	収入金額
京都コンサートホール	21,653 円
計	21,653 円

平成３０年度

決　　算　　書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

貸　借　対　照　表

平成３１年３月３１日現在

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	310,014,025	474,226,535	△ 164,212,510
未収金	291,003,624	273,264,035	17,739,589
貯蔵品	8,886,824	6,581,828	2,304,996
立替金	9,676,686	1,807,548	7,869,138
仮払金	30,000	24,610	5,390
前払金	48,820	76,700	△ 27,880
流動資産合計	619,659,979	755,981,256	△ 136,321,277
２．固定資産			
⑴基本財産			
投資有価証券	0	83,000,000	△ 83,000,000
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
普通預金	83,000,000	0	83,000,000
基本財産合計	103,000,000	103,000,000	0
⑵特定資産			
記念事業引当資産	74,920,000	74,920,000	0
管理運営引当資産	349,000,000	352,000,000	△ 3,000,000
退職給付引当資産	185,339,890	177,079,006	8,260,884
特定費用準備資金	152,860,000	152,380,000	480,000
特定資産取得・改良資金	2,500,000	20,000,000	△ 17,500,000
特定資産合計	764,619,890	776,379,006	△ 11,759,116
⑶その他固定資産			
什器備品	28,433,192	11,623,637	16,809,555
電話加入権	314,370	314,370	0
その他固定資産合計	28,747,562	11,938,007	16,809,555
固定資産合計	896,367,452	891,317,013	5,050,439
資産合計	1,516,027,431	1,647,298,269	△ 131,270,838
Ⅱ　負債の部			
１．流動負債			
未払金	264,021,215	385,170,339	△ 121,149,124
未払法人税等	320,000	320,000	0
前受金	232,349,921	248,944,003	△ 16,594,082
預り金	72,178,212	72,975,554	△ 797,342
賞与引当金	31,837,212	32,873,359	△ 1,036,147
仮受金	74,800	919,498	△ 844,698
流動負債合計	600,781,360	741,202,753	△ 140,421,393
２．固定負債			
退職給付引当金	185,339,890	177,079,006	8,260,884
固定負債合計	185,339,890	177,079,006	8,260,884
負債合計	786,121,250	918,281,759	△ 132,160,509
Ⅲ　正味財産の部			
１．指定正味財産			
京都市出えん金	55,000,000	55,000,000	0
指定正味財産合計	55,000,000	55,000,000	0
（うち基本財産への充当額）	(55,000,000)	(55,000,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)
２．一般正味財産	674,906,181	674,016,510	889,671
（うち基本財産への充当額）	(48,000,000)	(48,000,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(579,280,000)	(599,300,000)	(△20,020,000)
正味財産合計	729,906,181	729,016,510	889,671
負債及び正味財産合計	1,516,027,431	1,647,298,269	△ 131,270,838

平成３０年度正味財産増減計算書

平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減	備　考
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
１．経常増減の部				
⑴経常収益				
①基本財産運用益	1,239,708	1,239,696	12	
1 基本財産運用益	1,239,708	1,239,696	12	
基本財産受取利息等	1,239,708	1,239,696	12	
②特定資産運用益	176,096	235,143	△ 59,047	
1 特定資産運用益	176,096	235,143	△ 59,047	
特定資産受取利息等	176,096	235,143	△ 59,047	
③事業収益	2,137,233,034	2,130,903,665	6,329,369	
1 自主・共催事業収益	704,069,426	672,500,471	31,568,955	
入場料収益	166,686,965	191,438,010	△ 24,751,045	
参加料収益	1,801,000	1,311,000	490,000	
友の会会費	59,152,000	59,519,500	△ 367,500	
京響ｺｰﾗｽ会費	3,288,000	3,150,000	138,000	
広告料収益	19,766,511	30,794,140	△ 11,027,629	
共催事業収益	274,459,526	254,398,827	20,060,699	
助成金収益	175,708,880	127,790,631	47,918,249	
物品販売等収益	2,679,884	3,534,254	△ 854,370	
著作隣接権等収益	526,660	564,109	△ 37,449	
2 事業受託収益	146,567,202	140,944,187	5,623,015	
事業受託収益	146,567,202	140,944,187	5,623,015	
3 管理受託収益	651,936,000	645,936,000	6,000,000	
管理受託収益	651,936,000	645,936,000	6,000,000	
4 利用料収益	591,230,938	625,129,644	△ 33,898,706	
ﾎｰﾙ利用料金収益	560,074,888	592,713,104	△ 32,638,216	
駐車場利用料金収益	31,156,050	32,416,540	△ 1,260,490	
5 その他事業収益	43,429,468	46,393,363	△ 2,963,895	
企画・演出手数料等収益	9,079,646	9,418,578	△ 338,932	
賑わい事業収益	19,440,000	19,440,000	0	
ﾌﾟﾚｲｶﾞｲﾄﾞ事務手数料収益	14,909,822	17,534,785	△ 2,624,963	
④受取補助金等	702,292,873	692,040,751	10,252,122	
1 受取地方公共団体補助金	702,292,873	692,040,751	10,252,122	
京都市補助金	702,292,873	692,040,751	10,252,122	
⑤受取寄付金	7,402,990	7,400,000	2,990	
1 受取寄付金	7,402,990	7,400,000	2,990	
寄付金収益	7,402,990	7,400,000	2,990	
⑥雑収益	10,254,896	16,099,800	△ 5,844,904	
1 雑収益	10,254,896	16,099,800	△ 5,844,904	
受取利息等	47	64	△ 17	
管理手数料等収益	9,261,235	12,935,113	△ 3,673,878	
雑収益	993,614	3,164,623	△ 2,171,009	
経常収益合計	2,858,599,597	2,847,919,055	10,680,542	

平成３０年度正味財産増減計算書

平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減	備　考
⑵経常費用				
①事業費	2,835,566,666	2,782,727,023	52,839,643	
役員報酬	3,383,177	3,372,691	10,486	
給料手当	997,862,249	998,723,378	△ 861,129	
賞与引当金繰入額	30,968,929	31,788,118	△ 819,189	
退職給付費用	9,960,682	21,832,195	△ 11,871,513	
臨時雇賃金	58,393,099	49,464,017	8,929,082	
福利厚生費	174,035,027	170,616,274	3,418,753	
会議費	2,470	2,365	105	
旅費交通費	37,629,570	29,710,916	7,918,654	
通信運搬費	23,176,279	18,655,063	4,521,216	
減価償却費	11,070,165	5,889,513	5,180,652	
消耗什器備品費	10,934,396	8,190,332	2,744,064	
消耗品費	30,800,584	30,346,682	453,902	
商品費	944,506	2,047,474	△ 1,102,968	
見本費	0	2,492	△ 2,492	
修繕費	26,736,194	29,446,158	△ 2,709,964	
印刷製本費	38,751,049	31,494,636	7,256,413	
広告宣伝費	32,573,279	35,688,047	△ 3,114,768	
燃料費	0	24,810	△ 24,810	
光熱水料費	181,828,373	179,728,946	2,099,427	
賃借料	65,405,759	69,706,231	△ 4,300,472	
保険料	1,920,153	1,906,057	14,096	
諸謝金	3,224,720	3,017,664	207,056	
租税公課	52,333,568	57,087,486	△ 4,753,918	
支払負担金	25,375,047	40,595,561	△ 15,220,514	
チケット購入額	21,160	68,208	△ 47,048	
支援事業助成金	100,000	170,050	△ 70,050	
委託費	1,005,465,665	951,940,746	53,524,919	
接遇交際費	0	10,800	△ 10,800	
支払手数料等	5,494,294	6,062,831	△ 568,537	
雑費	7,176,272	5,137,282	2,038,990	
②管理費	21,823,260	23,210,098	△ 1,386,838	
役員報酬	2,839,473	2,728,833	110,640	
給料手当	11,078,399	11,847,190	△ 768,791	
賞与引当金繰入額	868,283	1,085,241	△ 216,958	
退職給付費用	640,202	468,456	171,746	
福利厚生費	3,339,398	3,734,990	△ 395,592	
会議費	91,765	56,871	34,894	
旅費交通費	164,250	139,470	24,780	
通信運搬費	88,298	53,648	34,650	
減価償却費	370,811	127,669	243,142	
消耗什器備品費	119,016	149,364	△ 30,348	

平成３０年度正味財産増減計算書

平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減	備　考
消耗品費	408,715	353,717	54,998	
修繕費	29,160	29,160	0	
諸謝金	385,200	385,200	0	
租税公課	971,982	1,124,814	△ 152,832	
支払負担金	248,540	248,540	0	
委託費	152,410	647,525	△ 495,115	
接遇交際費	10,000	10,000	0	
支払手数料等	17,358	19,410	△ 2,052	
経常費用合計	2,857,389,926	2,805,937,121	51,452,805	
当期経常増減額	1,209,671	41,981,934	△ 40,772,263	
２．経常外増減の部				
⑴経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
⑵経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	1,209,671	41,981,934	△ 40,772,263	
法人税，住民税及び事業税	320,000	320,000	0	
当期一般正味財産増減額	889,671	41,661,934	△ 40,772,263	
一般正味財産期首残高	674,016,510	632,354,576	41,661,934	
一般正味財産期末残高	674,906,181	674,016,510	889,671	
Ⅱ　指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	55,000,000	55,000,000	0	
指定正味財産期末残高	55,000,000	55,000,000	0	
Ⅲ　正味財産期末残高	729,906,181	729,016,510	889,671	

平成３０年度正味財産増減計算書　内訳書

平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合　計
	公１	公２	小　計	物品販売等 公益目的外事業			
	文化芸術事業	ｵｰｹｽﾄﾗによる 文化芸術事業					
Ⅰ　一般正味財産増減の部							
１．経常増減の部							
⑴経常収益							
①基本財産運用益	1,239,708	0	1,239,708	0	0	0	1,239,708
1 基本財産運用益	1,239,708	0	1,239,708	0	0	0	1,239,708
基本財産受取利息等	1,239,708	0	1,239,708	0	0	0	1,239,708
②特定資産運用益	176,096	0	176,096	0	0	0	176,096
1 特定資産運用益	176,096	0	176,096	0	0	0	176,096
特定資産受取利息等	176,096	0	176,096	0	0	0	176,096
③事業収益	1,483,212,134	439,748,499	1,922,960,633	411,181,450	21,823,260	△ 218,732,309	2,137,233,034
1 自主・共催事業収益	445,113,885	256,275,657	701,389,542	2,792,194	0	△ 112,310	704,069,426
入場料収益	79,653,915	87,033,050	166,686,965	0	0	0	166,686,965
参加料収益	1,801,000	0	1,801,000	0	0	0	1,801,000
友の会会費	2,897,000	56,255,000	59,152,000	0	0	0	59,152,000
京響ｺｰﾗｽ会費	0	3,288,000	3,288,000	0	0	0	3,288,000
広告料収益	15,770,511	3,996,000	19,766,511	0	0	0	19,766,511
共催事業収益	257,541,579	16,917,947	274,459,526	0	0	0	274,459,526
助成金収益	87,449,880	88,259,000	175,708,880	0	0	0	175,708,880
物品販売等収益	0	0	0	2,792,194	0	△ 112,310	2,679,884
著作隣接権等収益	0	526,660	526,660	0	0	0	526,660
2 事業受託収益	8,559,212	183,472,842	192,032,054	0	0	△ 45,464,852	146,567,202
事業受託収益	8,559,212	183,472,842	192,032,054	0	0	△ 45,464,852	146,567,202
3 管理受託収益	498,633,467	0	498,633,467	131,479,273	21,823,260	0	651,936,000
管理受託収益	498,633,467	0	498,633,467	131,479,273	21,823,260	0	651,936,000
4 利用料収益	530,905,570	0	530,905,570	220,564,643	0	△ 160,239,275	591,230,938
ﾎｰﾙ利用料金収益	530,905,570	0	530,905,570	189,364,843	0	△ 160,195,525	560,074,888
駐車場利用料金収益	0	0	0	31,199,800	0	△ 43,750	31,156,050
5 その他事業収益	0	0	0	56,345,340	0	△ 12,915,872	43,429,468
企画・演出手数料等収益	0	0	0	11,978,150	0	△ 2,898,504	9,079,646
賑わい事業収益	0	0	0	19,440,000	0	0	19,440,000
ﾌﾟﾚｲｶﾞｲﾄﾞ事務手数料収益	0	0	0	24,927,190	0	△ 10,017,368	14,909,822
④受取補助金等	0	696,861,600	696,861,600	5,431,273	0	0	702,292,873
1 受取地方公共団体補助金	0	696,861,600	696,861,600	5,431,273	0	0	702,292,873
京都市補助金	0	696,861,600	696,861,600	5,431,273	0	0	702,292,873
⑤受取寄付金	6,402,990	1,000,000	7,402,990	0	0	0	7,402,990
1 受取寄付金	6,402,990	1,000,000	7,402,990	0	0	0	7,402,990
寄付金収益	6,402,990	1,000,000	7,402,990	0	0	0	7,402,990
⑥雑収益	47	0	47	10,255,649	0	△ 800	10,254,896
1 雑収益	47	0	47	10,255,649	0	△ 800	10,254,896
受取利息等	47	0	47	0	0	0	47
管理手数料等収益	0	0	0	9,262,035	0	△ 800	9,261,235
雑収益	0	0	0	993,614	0	0	993,614
経常収益合計	1,491,030,975	1,137,610,099	2,628,641,074	426,868,372	21,823,260	△ 218,733,109	2,858,599,597

平成３０年度正味財産増減計算書　内訳書

平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合　計
	公１	公２	小　計	物品販売等 公益目的外事業			
	文化芸術事業	ｵｰｹｽﾄﾗによる 文化芸術事業					
⑵経常費用							
①事業費	1,468,334,422	1,160,683,422	2,629,017,844	425,281,931	0	△ 218,733,109	2,835,566,666
役員報酬	1,933,244	1,208,278	3,141,522	241,655	0	0	3,383,177
給料手当	253,550,839	617,657,621	871,208,460	126,653,789	0	0	997,862,249
賞与引当金繰入額	19,292,545	2,524,004	21,816,549	9,152,380	0	0	30,968,929
退職給付費用	6,736,783	320,099	7,056,882	2,903,800	0	0	9,960,682
臨時雇賃金	22,946,389	8,452,006	31,398,395	26,994,704	0	0	58,393,099
福利厚生費	47,746,885	100,885,580	148,632,465	25,402,562	0	0	174,035,027
会議費	2,470	0	2,470	0	0	0	2,470
旅費交通費	15,038,702	22,331,735	37,370,437	259,133	0	0	37,629,570
通信運搬費	11,167,363	11,187,917	22,355,280	820,999	0	0	23,176,279
減価償却費	4,000,105	5,958,398	9,958,503	1,111,662	0	0	11,070,165
消耗什器備品費	7,145,210	1,615,572	8,760,782	2,173,614	0	0	10,934,396
消耗品費	17,631,210	8,461,983	26,093,193	4,713,431	0	△ 6,040	30,800,584
商品費	0	0	0	944,506	0	0	944,506
見本費	0	3,726	3,726	0	0	△ 3,726	0
修繕費	19,478,367	2,663,496	22,141,863	4,594,331	0	0	26,736,194
印刷製本費	25,872,180	11,915,864	37,788,044	963,005	0	0	38,751,049
広告宣伝費	16,031,848	15,864,462	31,896,310	694,216	0	△ 17,247	32,573,279
光熱水料費	135,014,704	5,225,606	140,240,310	41,588,063	0	0	181,828,373
賃借料	123,080,600	92,160,296	215,240,896	3,409,553	0	△ 153,244,690	65,405,759
保険料	715,158	1,134,450	1,849,608	70,545	0	0	1,920,153
諸謝金	835,383	1,943,885	2,779,268	445,452	0	0	3,224,720
租税公課	25,707,183	8,361,174	34,068,357	18,265,211	0	0	52,333,568
支払負担金	22,618,450	779,000	23,397,450	1,977,597	0	0	25,375,047
チケット購入額	21,160	0	21,160	0	0	0	21,160
支援事業助成金	7,167,235	0	7,167,235	0	0	△ 7,067,235	100,000
委託費	681,155,716	234,192,494	915,348,210	148,505,091	0	△ 58,387,636	1,005,465,665
支払手数料等	1,372,817	2,106,115	3,478,932	2,015,362	0	0	5,494,294
雑費	2,071,876	3,729,661	5,801,537	1,381,270	0	△ 6,535	7,176,272
②管理費	0	0	0	0	21,823,260	0	21,823,260
役員報酬	0	0	0	0	2,839,473	0	2,839,473
給料手当	0	0	0	0	11,078,399	0	11,078,399
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	868,283	0	868,283
退職給付費用	0	0	0	0	640,202	0	640,202
福利厚生費	0	0	0	0	3,339,398	0	3,339,398
会議費	0	0	0	0	91,765	0	91,765
旅費交通費	0	0	0	0	164,250	0	164,250
通信運搬費	0	0	0	0	88,298	0	88,298
減価償却費	0	0	0	0	370,811	0	370,811
消耗什器備品費	0	0	0	0	119,016	0	119,016
消耗品費	0	0	0	0	408,715	0	408,715
修繕費	0	0	0	0	29,160	0	29,160
諸謝金	0	0	0	0	385,200	0	385,200

平成３０年度正味財産増減計算書　内訳書

平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合　計
	公１	公２	小　計	物品販売等 公益目的外事業			
	文化芸術事業	ｵｰｹｽﾄﾗによる 文化芸術事業					
租税公課	0	0	0	0	971,982	0	971,982
支払負担金	0	0	0	0	248,540	0	248,540
委託費	0	0	0	0	152,410	0	152,410
接遇交際費	0	0	0	0	10,000	0	10,000
支払手数料等	0	0	0	0	17,358	0	17,358
経常費用合計	1,468,334,422	1,160,683,422	2,629,017,844	425,281,931	21,823,260	△ 218,733,109	2,857,389,926
当期経常増減額	22,696,553	△ 23,073,323	△ 376,770	1,586,441	0	0	1,209,671
２．経常外増減の部							
⑴経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
⑵経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	22,696,553	△ 23,073,323	△ 376,770	1,586,441	0	0	1,209,671
法人税，住民税及び事業税	0	0	0	320,000	0	0	320,000
当期一般正味財産増減額	22,696,553	△ 23,073,323	△ 376,770	1,266,441	0	0	889,671
一般正味財産期首残高			673,671,266	345,244	0	0	674,016,510
一般正味財産期末残高			673,294,496	1,611,685	0	0	674,906,181
Ⅱ　指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額			0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			55,000,000	0	0	0	55,000,000
指定正味財産期末残高			55,000,000	0	0	0	55,000,000
Ⅲ　正味財産期末残高			728,294,496	1,611,685	0	0	729,906,181

財務諸表に対する注記

１．重要な会計方針

⑴　有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…購入時の取得価額による。なお償却原価法については，取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため，適用していない。

⑵　たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品及び貯蔵品…先入先出法による原価法を採用している。

⑶　固定資産の減価償却の方法

当財団会計規程第２１条に従い，償却費の計算は定率法により行っており，勘定記入の方法は直接法により行っている。

⑷　引当金の計上基準

退職給付引当金については，職員の退職金の支払に備えるため，財団の規程に基づき算出した要支給額の全額を引き当てている。

⑸　消費税等の会計処理

消費税等の取扱いについては，税込処理方式を採用している。

２．基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は，次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	83,000,000	0	83,000,000	0
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
普通預金	0	83,000,000	0	83,000,000
小　　計	103,000,000	83,000,000	83,000,000	103,000,000
特定資産				
記念事業引当資産	74,920,000	0	0	74,920,000
管理運営引当資産	352,000,000	0	3,000,000	349,000,000
退職給付引当資産	177,079,006	8,260,884	0	185,339,890
特定費用準備資金	152,380,000	4,820,000	4,340,000	152,860,000
特定資産取得・改良資金	20,000,000	2,500,000	20,000,000	2,500,000
小　　計	776,379,006	15,580,884	27,340,000	764,619,890
合　　計	879,379,006	98,580,884	110,340,000	867,619,890

３．基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は，次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
定期預金	20,000,000	(0)	(20,000,000)	－
普通預金	83,000,000	(55,000,000)	(28,000,000)	－
小　　計	103,000,000	(55,000,000)	(48,000,000)	(0)
特定資産				
記念事業引当資産	74,920,000	(0)	(74,920,000)	－
管理運営引当資産	349,000,000	(0)	(349,000,000)	－
退職給付引当資産	185,339,890	(0)	(0)	(185,339,890)
特定費用準備資金	152,860,000	(0)	(152,860,000)	－
特定資産取得・改良資金	2,500,000	(0)	(2,500,000)	－
小　　計	764,619,890	(0)	(579,280,000)	(185,339,890)
合　　計	867,619,890	(55,000,000)	(627,280,000)	(185,339,890)

４．固定資産取得価額，減価償却累計額及び当期末残高

固定資産取得価額，減価償却累計額及び当期末残高は，次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	143,130,315	114,697,123	28,433,192

５．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額，時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額，時価並びに評価損益は，次のとおりである。

（単位：円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時　　価	評価損益	
京都市浪漫債5年(第14回)	50,000,000	50,045,000	45,000	管理運営引当資産
京都市債5年(平成27年度第3回)	30,000,000	30,060,000	60,000	退職給付引当資産
京都府公募債(平成28年第6回)	30,000,000	29,997,000	△ 3,000	退職給付引当資産
京都市債5年(平成29年度第2回)	50,000,000	50,030,000	30,000	管理運営引当資産
京都市債5年(平成30年度第2回)	50,000,000	50,060,000	60,000	管理運営引当資産
合　　計	210,000,000	210,192,000	192,000	

６．補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高は，次のとおりである。

（単位：円）

補助金の名称及び交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
補助金				
財団運営事業補助金 交付者　京都市	0	702,292,873	702,292,873	0
受取補助金計	0	702,292,873	702,292,873	0
助成金				
舞台芸術創造活動活性化事業 交付者　独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	79,234,000	79,234,000	0
芸術創造普及活動助成 (現代舞台芸術創造普及活動助成) 交付者　独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	5,975,000	5,975,000	0
地域文化振興活動助成 (地域文化施設公演・展示活動助成) 交付者　独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	223,000	223,000	0
劇場・音楽堂等機能強化推進事業 交付者　独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	49,974,000	49,974,000	0
音楽公演助成 交付者　公益財団法人 ﾛｰﾑﾐｭｰｼﾞｯｸﾌｧﾝﾃﾞｰｼｮﾝ	0	28,600,000	28,600,000	0
公演助成 交付者(公財)青山財団	0	500,000	500,000	0
公演助成 交付者　ｹﾞｰﾃ･ｲﾝｽﾃｨﾄｭｰﾄ ｳﾞｨﾗ鴨川	0	3,152,880	3,152,880	0
公演助成 交付者　一般財団法人 地域創造	0	5,000,000	5,000,000	0
公演助成 交付者(公財)ｱﾌｨﾆｽ文化財団	0	3,000,000	3,000,000	0
広告助成 交付者　公益社団法人 日本オーケストラ連盟	0	50,000	50,000	0
受取助成金計	0	175,708,880	175,708,880	0
合　　計	0	878,001,753	878,001,753	0

財　産　目　録

平成３１年３月３１日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）				
	現金	手許保管	運転資金として	7,769,043
	普通預金	総務課，管理課，事業企画課		
		京都銀行下鴨支店	〃	75,590,974
		三菱ＵＦＪ銀行京都支店	〃	2,274,925
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	62,775
		京都信用金庫北山支店	〃	43,164
		滋賀銀行北大路支店	〃	19,380
		三井住友信託銀行京都支店	〃	19,134
		三井住友銀行京都支店	〃	16,762
		ゆうちょ銀行京都北山郵便局	〃	7,597,733
		京都市交響楽団		
		京都銀行下鴨支店	〃	26,138,932
		三菱ＵＦＪ銀行京都支店	〃	71,219,865
		三井住友銀行京都支店	〃	1,936,748
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	4,420,425
		京都信用金庫北山支店	〃	2,623,166
		りそな銀行京都支店	〃	59,276
		ロームシアター京都		
		京都銀行市役所前支店	〃	57,530,900
		京都市東部文化会館		
		京都銀行山科中央支店	〃	10,688,826
		京都市呉竹文化センター		
		京都銀行伏見支店	〃	12,130,076
		京都市西文化会館ウエスティ		
		京都銀行上桂支店	〃	9,206,523
		京都市北文化会館		
		京都銀行鞍馬口支店	〃	6,686,088
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	883,215
		京都市右京ふれあい文化会館		
		京都銀行太秦安井支店	〃	8,201,569
	郵便振替	管理課	〃	2,068,649
		京都市交響楽団	〃	72,921
		ロームシアター京都	〃	1,670,764
		京都市東部文化会館	〃	123,152
		京都市呉竹文化センター	〃	623
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	50,917
		京都市北文化会館	〃	644,442
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	263,058
			＜現金預金計＞	310,014,025
	未収金	総務課	指定管理料等	58,649,588
		管理課，事業企画課	ホール利用料金等	57,747,043
		京都市交響楽団	公演料，助成金等	58,418,089
		ロームシアター京都	ホール利用料金等	115,247,921
		京都市東部文化会館	〃	516,183
		京都市呉竹文化センター	〃	154,480
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	153,830
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	116,490
			＜未収金計＞	291,003,624
	貯蔵品	管理課	販売用商品	637,738
		京都市交響楽団	〃	1,203,732
		ロームシアター京都	照明用ﾎﾟﾘｶﾗｰ	3,947,885
		京都市東部文化会館	〃	570,141
		京都市呉竹文化センター	〃	556,463
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	1,082,559
		京都市北文化会館	〃	479,124

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
		京都市右京ふれあい文化会館	照明用ﾎﾟﾘｶﾗｰ	409,182
			＜貯蔵品計＞	**8,886,824**
	立替金	総務課	光熱水料費等	322,079
		管理課，事業企画課	〃	138,984
		ロームシアター京都	事業に関する立替金等	9,209,412
		東部文化会館	光熱水料費等	6,211
			＜立替金計＞	**9,676,686**
	仮払金	総務課	訴訟費用概算払い	30,000
			＜仮払金計＞	**30,000**
	前払金	総務課	交通ICｶｰﾄﾞ(ICOCA)保証金	17,500
		京都市交響楽団	ﾚﾝﾀﾙ楽譜料（第634回定期）	31,320
			＜前払金計＞	**48,820**
流動資産合計				**619,659,979**
(固定資産)				
基本財産	定期預金	京都銀行下鴨支店	運用益を公益目的事業の財源と	10,000,000
		三菱ＵＦＪ銀行京都支店	している	10,000,000
	普通預金	京都銀行下鴨支店	〃	83,000,000
			＜基本財産計＞	**103,000,000**
特定資産	記念事業引当資産	普通預金　京都銀行下鴨支店	〃	74,920,000
			＜記念事業引当資産計＞	**74,920,000**
	管理運営引当資産	第14回京都浪漫債(5年)	〃	50,000,000
		京都市債平成29年度第2回(5年)	〃	50,000,000
		京都市債平成30年度第2回(5年)	〃	50,000,000
		定期預金　三井住友銀行京都支店	〃	10,000,000
		定期預金　三井住友信託銀行京都支店	〃	10,000,000
		定期預金　京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	10,000,000
		定期預金　滋賀銀行北大路支店	〃	10,000,000
		普通預金　京都銀行下鴨支店	〃	159,000,000
			＜管理運営引当資産計＞	**349,000,000**
	退職給付引当資産	京都市債平成27年度第3回(5年)	退職給付引当金に充てる	30,000,000
		京都府債第8回京都みらい債(5年)	〃	29,911,800
		定期預金　京都信用金庫北山支店	〃	10,000,000
		定期預金　みずほ信託銀行京都支店	〃	10,000,000
		普通預金　京都銀行下鴨支店	〃	105,428,090
			＜退職給付引当資産計＞	**185,339,890**
	特定費用準備資金	普通預金　京都銀行下鴨支店	記念公演等	32,000,000
		〃	〃	40,000,000
		〃	〃	7,040,000
		普通預金　京都銀行市役所前支店	〃	2,320,000
		普通預金　京都銀行下鴨支店	〃	71,500,000
			＜特定費用準備資金計＞	**152,860,000**
	特定資産取得・改良資金	普通預金　京都銀行下鴨支店	什器備品購入	2,500,000
			＜特定資産取得・改良資金計＞	**2,500,000**
その他固定資産	什器備品	総務課	什器備品	202,062
		管理課，事業企画課	〃	1,960,761
		京都市交響楽団	〃	21,405,979
		ロームシアター京都	〃	2,973,999
		京都市東部文化会館	〃	340,975
		京都市呉竹文化センター	〃	413,196
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	688,595
		京都市北文化会館	〃	295,476
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	152,149
			＜什器備品計＞	**28,433,192**
	電話加入権	管理課，事業企画課	電話加入権	314,370
			＜電話加入権計＞	**314,370**
固定資産合計				**896,367,452**
資産合計				**1,516,027,431**

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
（流動負債）				
	未払金	総務課	人件費等	48,223,391
		管理課，事業企画課	公演経費，ホール運営経費等	36,843,768
		ロームシアター京都	〃	72,480,847
		京都市交響楽団	人件費，公演経費等	97,438,149
		京都市東部文化会館	ホール運営経費等	2,628,622
		京都市呉竹文化センター	〃	1,298,477
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	1,088,868
		京都市北文化会館	〃	3,213,095
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	805,998
			＜未払金計＞	**264,021,215**
	未払法人税等	総務課	法人税等	320,000
			＜未払法人税計＞	**320,000**
	前受金	管理課，事業企画課	ホール利用料金等	30,537,335
		京都市交響楽団	友の会会費等	44,815,700
		ロームシアター京都	ホール利用料金等	135,051,836
		京都市東部文化会館	〃	3,280,860
		京都市呉竹文化センター	〃	6,213,840
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	3,529,420
		京都市北文化会館	〃	4,615,220
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	4,305,710
			＜前受金計＞	**232,349,921**
	預り金	総務課	社会保険料等	11,230,821
		管理課，事業企画課	チケット購入代金等	31,254,241
		京都市交響楽団	〃	4,433,222
		ロームシアター京都	公演料，助成金等	21,076,669
		京都市東部文化会館	舞台設備料等	834,204
		京都市呉竹文化センター	〃	1,429,579
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	793,692
		京都市北文化会館	〃	246,025
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	879,759
			＜預り金計＞	**72,178,212**
	賞与引当金	職員	賞与引当金	31,837,212
			＜賞与引当金計＞	**31,837,212**
	仮受金	管理課	誤入金	1,000
		ロームシアター京都	〃	73,800
			＜仮受金計＞	**74,800**
流動負債合計				**600,781,360**
（固定負債）	退職給付引当金	職員	職員退職給付引当金	185,339,890
			＜退職給付引当金計＞	**185,339,890**
固定負債合計				**185,339,890**
負債合計				**786,121,250**
正味財産				**729,906,181**